




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
1	<p>医療法人麻の会 首里城下町クリニック</p> <p>理事長・ 第一クリニック院長 田名 毅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の診療に対する真摯な姿勢と共に地域の中でブランド力を示し信頼を得よう心掛けています。2001年の開院以来、地域むけ医療講演会を毎月開催し地域の方々へ正確で有用な医療情報の発信に努めています。コロナ禍における現在はYouTube配信を行っています。 ・医師の複数体制と、主に琉大病院からの応援で地域において最新の医療を安定して提供し、患者さんが安心して安全に治療が継続できる体制づくりを心がけています。 ・クリニックの名称を公募により改名（田名内科クリニック→首里城下町クリニック）し、施設管理者が交代することがあっても地域の中で医療を存続する姿勢を示し、地域の中で地域のために持続していく診療所運営を常に考えています。 ・病床を持たず夜間当直の勤務がない分、働く職員はワークライフバランスを保ちながら専門性を磨く機会が得やすく、メディカルスタッフすべてが自己研鑽と教育の機会をもち学会や研究会に参加しやすい環境を提供しています。 ・開院以来、医学生および研修医を地域医療研修として受け入れ、地域医療の醍醐味と医療連携の重要性を伝えています。将来働く職場のイメージやキャリア形成の機会として昨今は看護学生や中学生の職場体験を受け入れています。 ・2019年9月より、週2日、夜のクリニックを開放して地域の未来ある中高生のための学びの場を提供しています。中高生のロールモデルとなる大学生を学習支援ボランティアとして積極的に受け入れ、また個人や企業団体からの寄付等を利用して他団体（子どもの居場所塾）にも場所を提供し、同様に利用者やその親へ食事を提供しています。 ・これまでのクリニックの診療理念に加え、2020年に基本理念と運営理念を、SDGsを念頭に入れて作成しました。年頭の挨拶と併せ理事長より全職員へ説明し理解してもらった上で2020年1月より全員がSDGsのバッジをつけ仕事にあたっています。 	 <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
2	一般社団法人 あたいぐわー 理事長 玉城 優美	<p>あたいぐわーでの活動を通して、SDGs の達成に向けた取り組みをします。</p> <p>2030 年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食糧を十分得られるようにします。</p> <p>沖縄 21 世紀ビジョン基本計画の（1）健康・長寿おきなわの推進 ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進を目指し、具体的に以下に取り組む。 自社の畑で栽培した物や、地元で取れた農作物を自社の工場（セントラルキッチン）で食事の作る喜び、食べる楽しみを地域住民で分かち合い、管理栄養士の下で生活習慣病の予防食も調理提供していきます。</p> <p>■貧困をなくそう あたいぐわーでの子供支援、子ども食堂の活動を通して、食べる楽しみを地域住民で分かち合い、子どもの居場所作りを目指します。 自家栽培などを通して、子どもたちと土に触れあい食の大切さを勉強します。</p> <p>■地球温暖化防止や自然環境の保護 海の清掃など、環境美化活動を行い、SDGs を目指します。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
3	<p>イオン琉球株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐方 圭二</p>	<p>イオン琉球は「お客さま」「お取引先さま」「従業員」で取り組む「買物がつくる持続可能な社会」を目指して様々な活動を継続して行っております。</p> <p>1、商品でお客さまとともに SDGs</p> <p>①海の資源を守る認証商品の販売 水資源の過剰漁獲や枯渇を引き起こさないよう、海の生き物や環境、生態系などに配慮して漁獲した MSC 認証商品や ASC 認証商品を取り揃えております。</p> <p>②商品で国際貢献（フェアトレード） 商品を適正な価格で継続して買い取ることで生産者が自立できるように支援する貿易の仕組み、フェアトレードを取り入れた商品を販売し、お客さまに購入頂くことで継続的な支援を行っております。</p> <p>③地球にも人間にも優しい商品の品揃え（オーガニック） 農業や化学肥料の汚染から水・土壌・大気などの自然を守り、自然の循環機能を高めることで地域の生態系を守るオーガニック商品を取り揃えております。</p> <p>④地産地消・全消で環境への負荷を小さく 沖縄独自の農水畜産物など、地域の魅力を掘り起こし、生産者と共に育みながら地産地消・全消へ取り組んでおります。地域のものを地域で消費することにより、輸送による環境負荷を最小限にし、より新鮮な商品を食卓へお届けします。</p> <p>2、地域社会貢献</p> <p>①ご当地電子マネーWAON で地域に貢献、活性化 「首里城 WAON」を始めとするご当地 WAON で地域の自然・歴史・伝統文化や活動のための支援を行っております。</p> <p>②こども支援や食品廃棄ロスへの対策 県内のこども食堂へ継続的な食糧の提供や、使っていないランドセルをアフガニスタンのこどもへ寄付するなど、こども支援を行っております。 またフードドライブの実施などで食品廃棄ロスを減らし、支援を必要としているご家庭、団体へ贈呈しております。</p> <p>3、ダイバーシティを推進し成長する人材が活躍し続けられる企業へ</p> <p>①女性管理職比率の向上を目指した教育支援・制度の制定</p> <p>②LGBT セミナーや障がい者サポーター認定取得など社内教育の開催</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
4	イカリ消毒沖縄（株） 代表取締役 仲本 明	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い教育 社内において資格取得を推進しており、試験料会社負担や資格手当を支給。全社員が専門知識を持ち社会貢献のためお役立を目指す。また、定期的に食品企業様へ向け食品の衛生管理や HACCP などの勉強会を開催しています。 ●女性の働きやすい職場環境 業務の分担化により女性が活躍できる仕事の創出、産休後に復帰できる職場環境づくりを目指す。 ●貧困をなくす 県内では子どもの貧困が問題となっているが、子どもの貧困を解決するには、子どもを育てる親の経済的・精神的な安定が重要だと考えています。そのため、社員の有給消化率向上・所得向上を目指す。 ●すべての人に健康と福祉を 食品の安全・安心のため仕事を通じて食品製造業での食中毒防止・異物混入防止のサポートを実施し、安心して食事がとれる健康的な社会を目指す。社内においても健康診断を定期的実施し健康経営を実施する。 ●住み続けられる街づくり 環境に配慮した方法で、衛生害虫の問題を解決し住み続けられる街づくりを推進する。 	 <p>The image shows six SDG icons: 1 (Red, No Poverty), 3 (Green, Good Health and Well-being), 4 (Red, Quality Education), 5 (Red, Gender Equality), 8 (Red, Decent Work and Economic Growth), and 11 (Yellow, Sustainable Cities and Communities).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
5	<p>石垣島トライアスロン大会（事務局）</p> <p>事務局長 池淵功寛</p>	<p>石垣島トライアスロンでは、大会に関わるすべての活動において、SDGsに組み込み、それを発信することで、石垣島・八重山諸島の街づくりに寄与し、大会の質の向上を図ります。</p> <p>▶学ぶ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビギナー選手も、安心して大会にチャレンジできる環境づくりを行っています。 ・地域のジュニアアスリートが挑戦するための継続的な支援体制を目指します。 <p>▶女性にもやさしい大会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性目線で参加環境の向上を図っています。女性ランナーはもとより“誰もが参加しやすい大会”を目指しています。 <p>▶電動バイクの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営に電動バイクを活用し、CO2 排出量の削減に取り組んでいます。 ・大会車両 50%の電動・ハイブリッド化を目指します。 <p>▶ICT を活用した大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS 情報を活用し、選手の位置情報をリアルタイムで配信。島の魅力と競技の様子など空撮映像を含めた動画で配信している。 <p>▶ゴミの削減、リユース、リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙印刷から WEB 資料と動画での配信を行い、70%の紙廃棄の削減を実証します。 ・海洋漂流物を削減するため、ペットボトル廃棄のない大会を目指します。 <p>▶地域と選手がつながるトライアスロン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会サポーターとして地域の事業者からご支援頂き、地域のみんなで大会づくりを行なっています。 ・参加選手と共に地域の環境整備や地域情報の発信を一緒に行う取り組みを開始。 	 <p>The image shows six SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for Goal 4 (Quality Education), Goal 5 (Gender Equality), Goal 7 (Affordable and Clean Energy), and Goal 9 (Industry, Innovation and Infrastructure). The bottom row contains icons for Goal 12 (Responsible Consumption and Production) and Goal 17 (Partnerships for Goals).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
6	<p>石垣島ビーチホテルサンシャイン</p> <p>代表取締役社長 赤城 賀子</p>	<p>石垣島ビーチホテルサンシャインでは、持続的な開発目標 (SDGs) を推進するために、以下の取り組みを実施しています。</p> <p>●持続可能な光害(ひかりがい)への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の自然環境保護として、主に光害への対策や星空保護の啓蒙活動を、一般社団法人星空 H20 八重山地域振興会と連携して取り組んでいます。 ・ホテル施設内外の照明デザインを工夫することで、不必要な屋外照明を削減し、生態系保全や省エネルギーに効果的な照明を採用してきました。敷地内で開催している「しゃにしゃに星空ツアー」では、石垣島の豊かな星空のご案内と共に光害対策の大切さもお伝えしています。 <p>●持続可能な観光産業としての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ地元の食材を使用し、地産地消に努めています。 ・ペーパーレス化やリサイクル、リユース、食品ロス削減等ごみの削減に取り組んでいます。 ・プラスチックごみを減らす為、紙製ストローや紙製のテイクアウト用弁当箱を使用しています。 ・節水や節電、緑化、ビーチクリーン、ホテル周辺の清掃活動等を通して、環境への配慮や地域美化に努めています。 <p>●持続可能な健康経営とダイバーシティへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員一人一人が働きがいをもって生き生きと働くことのできる職場環境作りに努め、地域社会と共に持続発展する未来づくりに貢献します。 ・従業員の健康的な生活を確保するため、積極的なスポーツイベント参加や健康診断受診、年次有給休暇取得に取り組んでいます。 ・定時退社を促進したワークライフバランスの充実を図るとともに、業務の円滑化・効率化等による労働生産性の向上も図っていきます。 ・性別や人種、年齢、学歴を問わず多様性を受け入れ、広く人材雇用の機会を設けています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
7	<p>株式会社 エー・アール・ジー</p> <p>代表取締役 池間 守</p>	<p>弊社は、建築設計監理業務を中心として、コンストラクション・マネージメント業務、補償コンサルタント業務を行っており、総合設計コンサルタント会社として質の高い成果を提供し、顧客満足と信頼に応えられるよう社員一同心掛けています。</p> <p>経営理念である「エー・アール・ジーは価値のある仕事を通して、顧客、社員の満足と幸せを実現し、創造力を図り社会に貢献します。」の基、建物を造ることにより街並みを形成してゆき、地域社会の人々に感動を与え、またクリエイティブな人材の育成とたゆまぬ技術の研鑽を行い、建築設計を通してクライアントに喜びと幸せを提供することで社会的使命を果たします。</p> <p>2030年SDGsの理念に紐づき目標へ向けて各分野のプロフェッショナルとパートナーシップの構築を図り未来へ向けた活動に取り組みます。</p> <p>●地域温暖化、自然環境保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築分野において環境問題となっている省エネルギー等の研修会への参加を行っており、また、ZEBを建築設計に用いながら地球温暖化対策に積極的に努めています。 ・沖縄県産の地場材を積極的に採用しパートナー企業と連携を図りCO2削減へ向けた普及に取り組んでいます。 <p>●働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革による長時間労働の抑制や週休二日制度を推進することによって誰もが働きやすい環境づくりに努めます。また、Webを構築し自宅からでも仕事ができる環境へ変化させ、生産性を向上させながらリモートワークを推進する取り組みを行っています。 <p>●建築物の耐震対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共建築物を中心にして耐震診断、改修設計、劣化度調査補修を継続的に実施すると共に、今後は民間建築物にも積極的に普及啓発を行っています。 <p>●地域貢献・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃活動・奉仕活動を意欲的に実践し、地域の景観に配慮し美化に努めています。 ・子ども達の学びや成長に繋がる職場体験（インターシップ）を実施し、未来へ向けた児童生徒の健全育成に努めています。 ・平日の通勤、通学の時間帯に安心、安全な社会を目指し、子ども達を見守る立哨活動に努めています。 ・毎年県内外から有識者を講師として招き入れ、一般の方々向けに無料セミナーを開催しています。 	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
8	<p>株式会社 オー・イー・エス</p> <p>代表者 竹森 勝俊</p>	<p>OKINAWA SDGs プロジェクトのパートナーシップ企業として登録している。</p> <p>沖縄県から委託を受け子育て総合支援モデル事業（進学チャレンジ支援事業）を実施。大学への進学意欲があり支援対象となる生徒の当校への通塾支援を行っている。</p> <p>那覇市スタディクーポンモデル事業に参画事業者として登録。那覇市在住の生活保護受給世帯の小学 4～6 年生の児童が当校へ通塾希望の場合、クーポンを発行し通塾支援を行っている。</p> <p>社内で女性活躍推進委員会を発足。今後は女性職員のキャリアアップや育児中の職員の時短勤務など就業状況の改善に向けて取り組んでいく。</p> <p>各事業所の照明器具を LED へ切り替え予定。電力削減と環境に配慮した事業所運営を行っている。</p> <p>社内でハラスメント研修を実施。オンライン会議なども導入し各職員が効率良く、働きやすい就業環境の整備を行っている。</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
9	<p>学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校 校長 諸見里 安知</p>	<p>沖縄福祉保育専門学校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、児童憲章・社会福祉法の理念に基づき、広く社会福祉事業・幼児教育及び健康福祉教育に関する専門的知識・技術を教授し、併せて豊かな人間形成に努め、以て有効な社会人並びに専門的職業人の養成を行うことを目的としています。</p> <p>本校は沖縄県とともに、21世紀ビジョン“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造するという理念のもと、次代を担う人々に思いをはせながら、沖縄から地球規模の課題解決に向けて、「持続可能な開発目標」の達成のため、教育や社会活動を通じて貢献してまいります。</p> <p>【これまでの SDGs への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 技術を活用し、石垣島に幼稚園免許・保育士資格が取得できる「こども学科」を開設しました ・ 留学生を受け入れ介護人材育成を強化しました ・ 北中城村・学校法人大庭学園が地域福祉を推進するための連携協定を締結しました ・ 久米地域にお住まいの子どもたちを対象に学習支援を行いました ・ 平和から令和へつなぐ OKIFUKU HEIWA クリーン活動を行いました ・ こども園などに手作りマスクを贈りました <p>これまでは本校単独での取り組みが中心となっていました。今後はこれらの活動を継続しつつ、おきなわ SDGs パートナー企業などとの連携を図り、学生支援などについても検討していきたいと考えております。</p> <p>また、ソーシャルワーク専門学校や認定こども園などを含め、大庭学園グループ全体で、取り組みを推進していく予定です。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
10	株式会社 okicom 代表取締役 小渡 玠	<p>●地域の福祉事業を支援します (3) 福祉を推進する官公庁への地域包括支援システムなどの IT 支援の業務活動を通じ、すべての人々の健康的な生活への貢献を目指します。</p> <p>●質の高い教育改革に IT の力を生かします (4) 教育への IT の役割も年々重要に。インターンシップ受入、パソコン教室施工、高度専門システムの提供などを通じ、質の高い教育の提供にこれからも尽力します。</p> <p>●LED の可能性をもっとみんなに (7) LED 照明エコシステムの販売や、LED イルミネーションの企画・運営行っています。省エネに限らない LED の可能性を信じ、持続可能なエネルギー活用に取り組みます。</p> <p>●自己研鑽と働き方改革の両立 (8) 創業初期から週休二日や産休・育休等の導入など人間らしく働きがいのある職場環境づくりに努めてきました。近年では社員一人ひとりとする目標評価精度を採用。継続的な成長を共に目指します。</p> <p>●地域の伝統工芸にイノベーションを (9) 琉球びんがた普及伝承コンソーシアムを、びんがた工房と共に設立。人口減や着物市場の縮小という逆境の中で、意匠やデザインを知的財産として保護、再利用できる環境を整え、次の百年を創ります。</p> <p>●地域の安全・安心に技術を生かす (11) ドローンスクワッド設立に参画し、市町村と災害協定を締結。災害・事故現場におけるドローンの活用支援の研究や、パイロットの育成も行っています。</p> <p>●環境負荷の高いアパレル業界に DX を (12) バガスのエシカルな生地と IoT を駆使し循環経済型のアパレルサービスの開発に取り組んでいます。</p> <p>●水産業の発展にドローン技術を活用 (14) 知念漁協共同で、空撮画像をデータ化し漁協が持つ情報と合成、どの漁場が収穫最盛期かを分かる様にしました。本技術は他の水産業の発展にも役立ちます。</p> <p>●地域資源の見直しで未来作り (15) 亜熱帯の希少生物の宝庫「やんばるの森」を守り、地域資源を生かした地元住民参加型の観光提案や SDGs に取り組む恩納村 IoT 推進協議会にも参画しています。</p> <p>●ニューコンビネーションで地域に貢献 (17) 県内外、国内外企業とのパートナーシップ・コラボレーション事業を通じ、持続可能な技術イノベーションの基盤を築いています。これからも地域の発展に寄与します。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
11	<p>特定非営利活動法人沖縄 NGO センター</p> <p>代表者 渡邊直美</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の市民活動支援に関わる機関や団体との連携 2か月に1度沖縄市民活動支援会議と題して各団体と意見交換・情報交換を行い、地域課題の解決を目指す。 ・ 人材育成 インターンやボランティアの受け入れを行い、自身の適正や就業意識の向上と共に個性や特性を把握して地域貢献へ活かせる気づきの機会を提供。 ・ 出前授業／開発教育・国際理解教育事業 地球規模の課題について身近な問題から世界とつながることができる学びを提供。 ・ 世界のウチナーンチュ関連事業 世界にも稀な世界のウチナーネットワークの構築。そのネットワークを通じ、目指すべき社会に向かって一歩踏み出す機会を提供。 ・ にほんごサークルの運営 地域に住む外国人が自発的に活動できる場所の提供 ・ 地球市民ひろばの実施 地球市民・多文化共生を市民と一緒に考え共有する場づくり 	 <p>The image shows a grid of 17 SDG icons. Goals 1 through 16 are arranged in a 4x4 grid (with the last cell empty), and goal 17 is in a separate box below goal 13. The icons represent: 1. No Poverty, 2. Zero Hunger, 3. Good Health and Well-being, 4. Quality Education, 5. Gender Equality, 6. Clean Water and Sanitation, 7. Affordable and Clean Energy, 8. Decent Work and Economic Growth, 9. Industry, Innovation and Infrastructure, 10. Reduced Inequalities, 11. Sustainable Cities and Communities, 12. Responsible Consumption and Production, 13. Climate Action, 14. Life Below Water, 15. Life on Land, 16. Peace, Justice and Strong Institutions, 17. Partnerships for Goal Achievement.</p>

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
12	株式会社 沖縄海邦銀行 代表取締役頭取 上地 英由	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。 ➤ 「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。 2. 地域経済の発展、持続的な成長 <ul style="list-style-type: none"> ➤ お客様の企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。 3. 地域社会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。 ➤ 沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。 	 <p>The image shows a collection of SDG icons arranged in four rows. The first row contains icons for goals 13 (Climate Action), 14 (Life Below Water), and 15 (Life on Land). The second row contains icons for goals 8 (Economic Growth) and 9 (Industry, Innovation and Infrastructure). The third row contains icons for goals 3 (Good Health and Well-being), 4 (Quality Education), and 8 (Economic Growth). The fourth row contains icons for goals 11 (Sustainable Cities and Communities) and 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
13	特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 会長 下地邦輝	<ul style="list-style-type: none"> ●環境学習プログラムの提供 「百聞は一見にしかず」で、地域の水辺環境の現状を体験学習することで、将来の環境を守るために自らの日常を変えるきっかけ作りをしている。また、「国場川ごみゼロ作戦」では、地域の散乱ゴミの現状の情報を活かした学校教材づくりを行っている。 ●水循環型社会づくり 島嶼の水環境は水源地の環境の影響を受けやすく、人の生活とも密接に結びついている。琉球大学と連携し、環境学習活動を通じて地域における循環型社会づくりに取り組んでいる。 ●地域資源を活かした観光商品づくり 地域資源を活かした観光（エコツアー）商品の開発を行い、販売している。また、JICA 研修では「エコツアー企画・運営」コースを運営し、草の根技術協力事業ではインドネシアにおいて地域資源を活かしたコミュニティ観光商品づくりを行った。 ●国場川ごみゼロ作戦 川ごみ削減に向けた学校教材の開発及びゴミ拾いの実践活動を含む環境学習プログラムの提供を行っている。 ●水辺の植生再生活動 在来種を用いた水辺植生の再生活動の中で、ギンネムや、センダングサ、アメリカハマグルマなどの外来植物種の駆除を行っている。 ●JICA 事業を通じた途上国への技術支援 課題別研修や草の根技術協力事業の JICA 事業を通して、途上国への技術支援を行っている。 	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for goals 4 (Quality Education), 6 (Clean Water and Sanitation), 8 (Decent Work and Economic Growth), and 12 (Responsible Consumption and Production). The bottom row contains icons for goals 14 (Life Below Water), 15 (Life on Land), and 17 (Partnerships for Goals).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
14	<p>(一財) 沖縄観光 コンベンションビュー ロー 会長 下地 芳郎</p>	<p>【経済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の航空会社、クルーズ船社、旅行会社、交通機関、ウエディング事業者、メディア等と連携し、観光客誘致を行い県経済活性化へ貢献(8, 12, 14, 15, 17) ・観光客への物産・伝統・文化・芸能・文化遺産・自然遺産のPR (8, 11, 12) ・観光コンテンツの開発・発掘・周知PRによる商品造成・販売支援(1, 3, 14, 15, 17) エコ、自然体験ツアー、チームビルディング、空手ツーリズム ・ツーリズム EXPO ジャパン 現地視察ツアーにおいて、SDGs の観点を盛り込んだ15コースを設定 (3, 4, 8, 9, 11, 12, 14, 15, 17) ・「#発見 SDGs キャンペーン」により、沖縄と関連する SDGs の写真等を募集するコンテスト開催 (8, 9, 11, 12, 14, 15, 17) ・「おきなわ観光天気予報」にて、観光客の予測を提示し、県内事業者の受入促進、県民への経済効果可視化 (8, 17) ・沖縄観光親善使節「ミス沖縄」による国内外への本県のイメージ向上と誘客PR(5, 8) <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界・大学等と連携した受入体制整備 (4, 8, 10, 11, 12, 14, 17) ・観光業界を対象とした人材育成セミナー開催 (SDGs 普及啓発セミナー含む)・学校等を対象にした観光教育 ・インバウンド対応強化 (3, 4, 8, 10, 11, 12, 17) ・食の多様性対応、医療体制整備、「ウェルカムんちゅ」 ・行政・観光業界と連携した観光危機管理体制の構築 (8, 11, 13, 16, 17) ・「防疫型観光」を推進するため、県医師会等医療関係機関と連携 (3, 8, 17) ・持続可能な MICE 開催の提案や産学官で構成される「沖縄 MICE ネットワーク」による MICE 誘致・受入体制強化(2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 11, 12, 14, 15, 16, 17) ・修学旅行の実施による学習機会の提供、支援 (3, 4, 8, 10, 11, 12, 14, 15, 16) ・県外学校への事前・事後学習支援、海外学校と県内学校の交流マッチング ・旧海軍司令部壕の運営を通じて、戦争の愚かさや「平和で豊かなおきなわ」の発信 (4, 8, 11, 12, 16, 15) <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅらチャリ」運営による CO2 排出削減・交通渋滞緩和 (7, 8, 11, 13, 17) ・県内企業・団体と連携したクリーンアップ活動 (6, 11, 12, 14, 17) ・世界自然遺産登録に向けたプロモーション (8, 11, 14, 15) ・環境に配慮したノベルティ製作 (マイ箸、布製ファンシーバック等) (13, 14, 15) ・フードロスを意識したレセプション開催(12) ・ブセナ海中公園の運営を通じて、海の魅力を伝え、自然観光の保全 (14) 	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
15	合同会社沖縄クリーンテック 代表 伊波達也	<p>●環境の改善と保全に繋がる商品サービスの企画販売 人に安心安全で油を粒子レベルまで分解して下水に流せる「これまでに無い次世代の洗剤」を本土と離島に広める事で、沖縄の海をもっときれいに、また、海のあらゆる生物たちに害を及ぼさないなど、環境保全と改善に繋げる取り組みをしています。</p> <p>●コロナ対策 人に安心安全で業界最高水準の除菌力を持つ除菌水、噴霧器などを本土と離島に広める事で、沖縄の人々の安心安全な暮らしに繋げる取り組みをしています。</p> <p>●雇用の創出、促進 在宅型テレワークを主に子育て世代の女性に担って頂いております。雇用形態など働き方の多様化に則し、活躍の場を広げる事で本土と離島の社会と経済の活性化に繋げる取り組みをしています。</p>	 <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
16	特定非営利活動法人おきなわグリーンネットワーク 理事長 西原 隆	<p>○陸域からの赤土等流出防止対策として、農地の周りにグリーンベルトを植栽したり、緑肥等で覆うカバークロープ対策によるサンゴの保全及び土壌の保全を行う取組。</p> <p>○地域の子どもたちと一緒にグリーンベルト植栽活動を行うことで、次世代を担う人材育成支援及び環境学習の取組。</p> <p>○農地の土壌保全と生産性の向上による、持続的な農業の実施に向けた取組及び支援。</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
17	<p>沖縄県医療廃棄物事業 協同組合</p> <p>代表理事 南 秀樹</p>	<p>1、日本赤十字への寄付活動、自然災害・高齢者・障がい者・飢餓へ支える貢献取組。 ① ②</p> <p>2、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出削減への取組みする中、最近の事業として環境省の「CO2 削減ポテンシャル診断」、経済産業省の「省エネルギー診断」を受け、抑制及び改善すべき部分が具体的に見えてきた、更に10年以上継続する認証登録「エコアクション2.1」環境負荷への削減取組みと前述の診断事業結果を踏まえた効果的な取組推進を図っています。③⑦⑪⑬⑮</p> <p>3、社員教育と業務に係る技術教育を自社や外部講師にて開催、そして弊組合では沖縄県からの産業廃棄物業の全4許可への優良認定を取得した事で、社員の安全運転、安全作業や適正事務への意識の高揚が図られ一つの教育の一環としてモチベーション向上を担っている。 お客様への廃棄物説明会の開催や施設への案内により適正処理への理解の為、個人、企業、県内外からの視察受入れ中。④⑧</p> <p>4、産業廃棄物処理業として騒音、振動、悪臭の抑制取組。⑥⑪⑫⑬⑭⑮</p> <p>5、花や緑による「緑の美ら島」への実現のため、緑化の取組を積極的に推進しています（弊組合は花と緑に囲まれた環境にあります）。⑮</p> <p>6、雇用環境の整備により、社員が働き易く定年後も安心して再雇用、再々雇用へと働ける社会の組織カンパニーの実現と社員の幸せのため「働き方改革」への雇用形成を目指しています。⑤⑧⑩</p> <p>7、環境にやさしい循環型社会の構築、廃棄物発生抑制、再使用、再利用・再資源として3Rの推進。⑫⑬</p> <p>8、有給休暇その他休み等でワークライフバランス促進及び研修制度、自己啓発の促進、福利厚生充実など働き方改革の構築の為の推進中。③⑧⑩</p> <p>9、グループ会社の(株)環境ソリューション、(株)倉敷、(有)華南産業と共に協調体制を図り、互いを補いながら、力強いパートナーとして躍進しています。⑰</p> <p>10、ISO 14001 環境マネジメント令和3年内には認定取得予定。③⑥⑦⑪⑫⑬⑭⑮</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
18	公益社団法人 沖縄県工業連合会 古波津 昇	<p>公益社団法人沖縄県工業連合会では、持続的な開発目標 (SDGs) を推進するために、以下の取り組みを実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県産品奨励事業の実施（ゴールNo. 1・7・8・9・11・12・17） 毎年7月に地域経済の活性化と雇用の拡大、人材育成、リサイクルの推進等を促進する事業を行っています。 2. 学校と産業界の交流事業の実施（ゴールNo. 4・8・9） 将来の沖縄を担う子供達に、職業観の醸成や働くことの大切さ、地場産業の理解を深めることを目的に、企業から学校に講師を派遣する事業を行っています。 3. 国家試験の実施（ゴールNo. 7・8・9・11・12・14・15） 環境保護やエネルギーの合理化に係る、公害防止管理者国家試験、エネルギー管理士国家試験を行っています。 4. 広報事業の実施（ゴールNo. 4・8・9・11・12・17） 地場産業の紹介、国県等の実施する事業の告知、産学官連携の取組の紹介、雇用促進に関する制度等を紹介する月刊誌「工連ニュース」を発刊しています。 http://www.okikouren.or.jp/ 5. 沖縄の産業まつりの実施（ゴールNo. 1・7・8・9・11・12・17） 県内最大の産業イベントとして定着している「沖縄の産業まつり」を実施しています。 6. 工業関係学生の学資支援（ゴールNo. 4・8・9） 高等学校の工業関係学科及び沖縄工業高等専門学校に在籍する学生に対して、心身健全、志操堅固、学業優秀で、経済的に学資の支出が困難な学生を対象に学資の一部を支給しています。 	 <p>The image shows a grid of 10 SDG icons: 1 (貧困をなくそう), 4 (質の高い教育をみんなに), 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに), 8 (働きがいも経済成長も), 9 (産業と技術革新の基盤をつくろう), 11 (住み続けられるまちづくりを), 12 (つくる責任 つかう責任), 14 (海の豊かさを守ろう), 15 (陸の豊かさも守ろう), and 17 (パートナーシップで目標を達成しよう).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
19	<p>一般社団法人沖縄県女性の翼</p> <p>会長 奥村 啓子</p>	<p>沖縄県女性海外セミナーにより、女性リーダー育成のため活動を続ける中 36期の海外研修を節目に、一般社団法人女性の翼としてスタートしました。今後も時代の変化に対応していく団体として「持続可能な開発目標 SDGs」に積極的に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あらゆる分野で女性リーダーを輩出し、政策を検討し提言する <ol style="list-style-type: none"> (1) 当団体役員を対象に講話「沖縄県 SDGs の取り組みについて」実施 講師 沖縄県企画部企画調整課副参事 (2) 女性リーダーを講師に「2020 年国内セミナー女性の翼第 37 期」開催 (沖縄県女性海外セミナーはコロナウイルスの世界的な蔓延により中止) ○「ダイバーシティ時代に求められるリーダーシップ」 ○「世界の女性たちに出会って、つながって！」 (3) 活躍する女性リーダーの「SDGs シンポジウム」開催 (全会員を対象に第 27 回宿泊研修会において実施) 講演 「沖縄県下における SDGs の取り組み」琉球新報社報道本部長 シンポジスト 恩納村役場企画課企画係長 NPO 法人にじのはしファンド代表 金秀アルミ工業（株）取締役執行役員営業部長 ● 女性の自立支援・子どもの貧困対策 DV 被害の子どもや女性が、シェルターを出た後の生活自立支援として、民間企業とタイアップし「女性の翼 OK 基金」を設置。運営の基軸として個人や団体の協力を得る仕組みを作り、支援事業を開始しました。 また、ひとり親の母子寡婦世帯、生活困窮世帯から生まれる子どもの貧困は、連鎖もあり、公的扶助制度や支援要請等に声を上げながら取り組みます。 ● 政治分野における女性の進出について 会員には、沖縄県議会議員、市町村議会議員、各種審議委員として政策決定の場に関わり活躍している女性もいます。男女共同参画社会を推進するためにも会員議員による情報交換会が翼会員のチャレンジに繋がるような、取り組みを継続します。 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート会議「女性の翼会員議員による議会活動情報交換会」実施 ・県議会議員 2 名・市町村議員 4 名による議会活動・議員へのきっかけ・ジェンダー平等・女性の翼に期待する事、について情報交換を行った。 	 <p>The image shows a grid of 17 SDG icons arranged in four rows. Row 1: 1 (red), 2 (yellow), 3 (green), 4 (red). Row 2: 5 (red), 6 (blue), 8 (red), 9 (orange). Row 3: 10 (purple), 11 (orange), 12 (yellow), 14 (blue). Row 4: 15 (green), 16 (blue), 17 (dark blue).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
20	<p>沖縄県 life 倶楽部協同組合</p> <p>代表理事 青山 悠紀</p>	<p>●少子化対策、婚活応援事業 人口減少、少子化、晩婚化の現状をあらゆる角度から応援しています。</p> <p>●life スタイル応援事業 全ての人の個々の life スタイルを教育、福祉、働きがい等テーマとし、共に様々な企画を提供し応援しています。</p>	 <p>The image shows a grid of SDG icons. The top row contains icons for goals 3 (Health and Well-being), 5 (Gender Equality), and 11 (Sustainable Cities and Communities). The middle row contains icons for goals 3 (Health and Well-being), 4 (Quality Education), 8 (Decent Work and Economic Growth), and 9 (Industry, Innovation and Infrastructure). The bottom row contains icons for goals 11 (Sustainable Cities and Communities), 12 (Responsible Consumption and Production), and 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
21	<p>沖縄県労働金庫 理事長 高良恵一</p>	<p>ろうきん業態による考勤指針の策定を受け、沖縄ろうきんとして「沖縄ろうきんSDGsにむけた考勤ビジョン」を制定し、経済・社会・環境の分野で以下の通り、取り組みを行っております。</p> <p>【経済】</p> <p>1. 妊活サポートローン「Hug-Kumi」の取り扱い 不妊治療に対する社会的理解の拡充促進や仕事と不妊治療の両立支援のため経済的負担の軽減</p> <p>2. 奨学金借換専用教育ローン「kukuru」の取り扱い 奨学金返済による経済的負担を軽減</p> <p>【社会】</p> <p>3. ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金の取り組み 「子どもの貧困」や根本的な要因の「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援を目的に創設した基金</p> <p>4. ろうきん・わしたシマづくり運動 沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等に関わる活動に取り組む非営利団体等へ寄付することでその活動を支援しています。</p> <p>5. 職員の認知症サポーター養成講座への参加 地域包括支援センター等と連携しながら認知症の支援体制の構築</p> <p>6. 各地区推進委員会との協働での地域文化・スポーツへの貢献 野球・バレーボール等のスポーツ大会の開催 小中学校への絵本・児童文学書の寄贈</p> <p>【環境】</p> <p>7. 会議資料のペーパーレス化 紙の使用削減を推進し、ゴミの排出量を削減します。</p> <p>8. 働きやすい職場の環境づくり 育児中の職員の時短勤務、子の看護休暇、生理休暇、治療と仕事の両立支援</p>	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for Goal 1 (貧困をなくそう), Goal 3 (すべての人に健康と福祉を), Goal 4 (質の高い教育をみんなに), and Goal 8 (働きがいも経済成長も). The bottom row contains icons for Goal 10 (人や国の不平等をなくそう), Goal 13 (気候変動に具体的な対策を), and Goal 17 (パートナーシップで目標を達成しよう).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
22	<p>沖縄体験ニライカナイ 有限会社ニライカナイ</p> <p>代表取締役社長 加蘭 明宏</p>	<p>●SDGsの実践を1998年から行い続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1998年の発足以来、地元住民に働き甲斐を感じてもらうことや環境に優しい取り組みを行うことを主目的としています。EM洗剤の使用やリユース、地産地消等を心掛け、ゼロエミッションと無農薬、赤土流出防止緑地帯の設置等を目指すなど環境に配慮し、環境保全の大事さや生きる喜びを共感出来るなど学習効果も高い、持続可能な感動体験学習を企画し主に修学旅行生に提供しています。 ・農業体験は自社管理サトウキビ畑等で近隣の農家とともに受け入れを行い、海人体験は恩納村やうるま市石川の漁業協同組合との協働、生活・暮らし体験は地域住民のお母さん方と、シーカヤックやシュノーケリング等のマリン体験は地域のマリン業者と連携する等、地域の方々とのパートナーシップを最重視しています。 <p>●環境保全活動を持続的に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム中にビーチクリーンや漁港清掃活動等の取り組みを入れて、修学旅行生と一緒に実行しています。 ・2013年に「恩納村久良波海岸保全利用協議会」を8社で設立し、恩納村漁業協同組合の指導の下、密漁防止や適正利用となるべく容量の調整を事務局として行うとともに、日常的に久良波海岸のビーチクリーンを協議会としても行っています。 <p>●SDGs普及と啓発活動を継続的に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年に「SDGs de 地方創生 ともに考える持続可能な恩納村の未来」の講演とカードゲーム体験会を企画・共催し、村内中心のステークホルダー80名で実施しました。 ・2020年には恩納村SDGs推進委員会委員に任ぜられ、村民対象にSDGs普及の為のカードゲームファシリテーターを継続実施しています。 ・2020年から修学旅行用SDGs体験プログラムを新たに企画発表し、修学旅行生にSDGsの理解や行動を促すとともに沖縄への継続的な誘客を心掛けています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
23	<p>株式会社 沖縄タイムス社</p> <p>代表取締役社長 武富 和彦</p>	<p>沖縄タイムス社は、戦後の荒廃した時代を「文化の力」で復興させようという創業の理念から文化事業を中心に力を入れてきました。総合美術展「沖展」や琉球古典芸能を守り育てる伝統芸能選考会、沖縄タイムス教育賞など文化および教育関連事業が特徴で、主催、共催事業を含めると約130事業にのぼります。また、近年は、子どもの貧困を解消する「沖縄こども未来プロジェクト」や「タイムスふれあい事業」「タイムス地域貢献賞」といった福祉面、地域活性化の視点で支援する取り組みも続けています。こうした事業はSDGsの考え方と共鳴するものであり、今後もSDGsの考え方を当社の道標として捉え、新たな事業も加えながら推進する考えです。</p> <p>○タイムスSDGsプロジェクト「MIRAIづくり」 クラウドファンディングLink-U（リンクユー）を活用し、県内のSDGsに取り組む企業や団体、個人を対象に、目標達成に向けた「情報発信」から「資金調達」、連携を広げる「パートナーシップ構築」まで、取り組みを進めるステージに合わせた具体的な支援を提供します。</p> <p>○伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 伝統芸能公演、顕彰事業や沖展などの主催事業で文化の保全・継承および創造の役割を果たします。</p> <p>○離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 2012年より地域活性化の事業としてふるさと応援元気企画を開催。石垣市、久米島町、伊江村など離島を中心に特産品、伝統工芸品の販売のほか、地域で受け継がれてきた民俗芸能公演を実施。本企画を通し地域振興に貢献し発展の一助となるべく取り組みます。</p> <p>○子育てセーフティーネットの充実 2016年に立ち上げた沖縄こども未来プロジェクトではこどもを支援するNPO・団体へ支援。17年からは新年度に小学校・中学校・高校へ入学する新1年生（非課税世帯）を対象に入学応援給付金を支給（19年度末累計3年間で2406人へ9270万円を給付）子どもの夢をみんなで支える一歩となるべく、企業・団体・個人のサポーターの皆様から頂いた支援金で子どもたちの夢を後押しします。</p>	





おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
24	<p>沖縄の未来像研究会 又吉章元、藤中寛之</p>	<p>2017年4月に発足した本会は、SDGsと同じ「バックキャストिंग」の発想に基づいた「沖縄の未来像」に関する調査研究と提言・教育活動を行ってきた。</p> <p>現在、経済分野を中心に「沖縄の未来像」を検討してきた本会として、SDGsの経済・環境・社会の統合性等に留意しつつ、17の目標ごとに沖縄に引き付けた事例や問題を掲載した「研究ノート」を作成中である。</p> <p>以下、主なSDGsへの具体的な取組みを記したい。</p> <p>2018年5月に沖縄大学土曜教養講座「戦後100年 経済発展する沖縄の未来像」を企画し、提言を含む報告書を取りまとめた。</p> <p>2019年11月、北海道教育大学及び沖縄大学の学生と未来像に関するワールドカフェを行い、沖縄県のSDGs等の取組みを盛り込んだ報告書を作成した。</p> <p>2020年9月、OECDから「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定された北九州市のSDGsについて調査し、琉球新報に「沖縄のSDGs推進、権限と経済基盤強化必要」（藤中寛之、2020年10月11日）との論壇を投稿した。北九州市のSDGs推進の基盤には、公害克服に向けた婦人会の活動にみる「市民力」の高さや、五市合併と政令指定都市移行による北九州市の誕生があることを紹介し、沖縄でSDGsを推進する上で市民が行政組織を大胆に統合し、権限と経済財政基盤を抜本強化する必要があると述べた。</p> <p>2020年12月、障害者の就労支援事業や沖縄における薬学部新設の必要性などを通じて、SDGsにおける福祉や医療のあり方について意見交換を行った。そして、沖縄の県や経済団体、マスコミ、JICA等のSDGsの取組みを調査した。</p> <p>2021年1月、SDGs未来都市として注目されている恩納村の取組みを調査した。恩納村では、「サンゴの村宣言」を施策化するためにSDGsに取組み始めており、経済・環境・社会の三側面の相乗効果があることや、大規模なインフラ整備が未着手になっているなどの現状についてヒアリングした。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
25	特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO 理事長 安慶名達也	<p>★沖縄生活文化の本質と多様性の追求で未来との絆づくり！ 子どもから高齢者の貧困問題を背景に、様々な格差を解消する地域支援体制の有機的人材構築に日々邁進しています。活動展開コンセプトに『生き抜く力醸成（じょうせい）！』を置き、予測不可能な不透明性が高い未来社会において、人間（にんじん）や皆（む）るー（てい）ちをモットーに、持続可能な取り組みを強化推進いたします。</p> <p>●ナーハイバイ（無縁）社会からチュイシージー（自助、公助）地域へ！ 様々な分野の生活格差を解消する持続可能な地域拡大家族づくりの為の仕掛けと仕組みづくりを構築し、食育を越えた食農教育を推進し、質の高い生涯学習教育を実践します。</p> <p>●地域共生肝心（ちむぐくる）社会のモデルづくり！ 地域の耕作放棄地を活用し、人も野菜も有機的に繋がる持続可能な地域小規模農業を開拓し、地球環境にやさしい食と農の循環推進を図ります。</p> <p>●しまくとぅばを沖縄県の18番目のSDGsのゴールに！ 消滅危機にあるしまくとぅば普及促進の為の様々な事業やプログラムを、しまくとぅばを愛（かな）さする方々や企業や団体と協働し、言葉と伝統文化を醸成できる道開拓人（みちあきんぐわあー）の育成に邁進します。</p> <p>●沖縄旧暦行事（ウユミ・シチビ）を持続させる暮らしの中の御願を推進！ 近年、継承への価値観が薄れつつある、生き抜く知恵の源である暮らしの御願の本質と魅力を発信し、自然との共存のあり方を提案します。</p> <p>●区産地消で環境に負荷をかけにくいフードドライブ実現！ 学校や地域、企業と協働し実現できる食品ロス削減を目指したフードドライブ（食べ物のウトウイムチ）事業を推進し、一人親家庭や独居高齢者への野菜等の無償配布まで実現できる取り組みを図ります。</p> <p>●誰一人取り見逃さない持続可能な見守り活動推進！ 毎年増加傾向にある認知症高齢者行方不明者の見守りと捜索を、地域との有機的なつながりの中で、安全に住み続けられるまちづくりの実現を目指しながら、切れ目のない支援基盤体制拡大を行います。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
26	<p>沖縄ビル・メンテナンス株式会社</p> <p>代表取締役 幸地 均</p>	<p>弊社は『人と企業に安全で快適な環境を創造する』を品質・環境方針に掲げ、SDGs 活動に取り組んでいます。</p> <p>◎質の高い教育をみんなに</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員のスキルアップ（資格取得の推進） <p>ビルメンテナンス業に必要な専門資格取得を推奨し、社員のスキルアップを図ります。</p> <p>◎働きがいも経済成長も</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全パトロールによる労働災害防止 <p>毎月、労働安全衛生委員にて現場でチェックリストを用いてパトロールを実施、災害の危険個所がないか確認し従業員の労働災害防止へ取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●働き方改革の推進 <p>働き過ぎを防ぐことで働く方々の健康を守り多様な「ワーク・ライフ・バランス」を実現する為に「時間外労働の削減」及び「NO 残業デー」を制定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者及び障害者の積極的雇用 <p>高齢者及び障害者を継続的に、安定した雇用の確保を目指します。</p> <p>◎住み続けられるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境に優しい資機材の使用 <p>環境負荷の低い資機材を使用し、人体・環境への安全性を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステム「ISO14001」の運用 <p>「ISO14001」を活用し継続的な PDCA サイクルで廃棄物の管理コストの低減、水道・電気などエネルギー消費の節約、環境への負荷低減に取り組んでいます。</p> <p>◎パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定期的消防訓練の実施（消防署連携） <p>消防訓練を定期的に消防署と連携実施し、防災体制の強化に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定期的防犯訓練（テロ）の実施（警察署連携） <p>防犯訓練を定期的に警察署と連携実施し、防犯体制の強化に取り組んでいます。</p>	   


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
27	<p>沖縄ヤマト運輸株式会社</p> <p>代表取締役社長 赤嶺真一</p>	<p>沖縄ヤマト運輸は、持続可能な社会の発展をリードする企業として、環境と調和する経営に注力しています。環境に配慮した物流、特に輸送や施設での資源・エネルギーの効率利用や環境負荷を低減する商品・サービスの提供を進め、低炭素社会や循環型社会の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輸送の取組み「環境にこだわった輸送を実現します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社員一人ひとりが、日々エコドライブを実践します。 (2) EV車・低公害車の導入や、台車・新スリーターなどを使った集配により、CO2などの排出ガスの削減を図ります。 (3) ドライアイスの使用量を抑制する輸送ネットワークの構築を推進します ● 施設の取組み「施設の省エネ化を推進します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社員一人ひとりが、エネルギーを大切にし、省エネ活動を実施します。 (2) 照明設備のLED化などにより、施設の省エネ化を推進します。 (3) 業務のペーパーレス化により、紙の使用削減を推進し、ゴミの排出量を減らします。 ● 商品の取組み「環境に配慮した商品・サービスを展開します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) リターナブル資材などの開発・導入を推進します。 (2) グリーン購入やリサイクルを推進し、資源を有効活用します。 ● 地域との取組み「地域の皆様とのコミュニケーションを強化します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自治体や地元企業との連携を強化し、「首里城復興支援」や「サンゴ礁保全活動」、「各種スポーツイベント」などの企画・協賛活動を推進します。 (2) 地域社会の一員として、「交通安全運動への参画」・「見守りパトロール活動」・「清掃活動」などを通じて、地域とのつながりを深めていきます。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
28	<p>オリジン・コーポレーション</p> <p>代表 首里のすけ</p>	<p>【ネット動画】 HUB 沖縄（つながる沖縄ニュースネット）にて動画コンテンツ企画「オリジン SDGs げきじょう」を制作しています。芸人のネタやロケを通じて、視聴者と共に SDGs への理解を深めます。 https://hubokinawa.jp/archives/category/movie/movie-channel04</p> <p>【お笑い】 じゅん選手によるしまくとぅばを交えたキャリア教育や、ネパール人芸人らむちゃんの、国際交流プログラムなど、学習に応用できるお笑いを学校や観光施設に提供しています。</p> <p>国際交流プログラム 例 2021 年出演 【まーいまーい Naha オンライン講座】ネパールから見た沖縄【国際相互理解増進講座】 - YouTube</p> <p>【市民劇】 2018 年劇団 O. Z. E. 公演「琉球島人 2018」では、県内の小学校 4 年生から一般の方を対象に募集をかけ、4 カ月の稽古を重ね、パレット市民劇場にて公演しました。市民劇を通じて子供達に自己表現の大切さや沖縄の歴史を知ってもらい、生涯学習にも繋がります。また、売り上げの一部で、交通遺児協会や病院への寄付を行いました。</p> <p>【平和劇】 「白梅学徒隊から託されたもの」 沖縄戦当時、白梅学徒隊に配属され、生き抜いた中山キクさんよりお話を聞き脚本を作成しました。戦争の語り部が少なくなっていく現状、その課題解決として演劇を通じて後世に伝えていく事を目的としています。2019 年「宜野湾平和学習派遣事業」の一環として宜野湾市にて上演しました。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
29	<p>株式会社環境ソリューション</p> <p>代表取締役 南 秀樹</p>	<p>1、日本赤十字社への寄付活動、自然災害・高齢者・障がい者・飢餓へ支える貢献取組。</p> <p>① ②</p> <p>2、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出削減への取組みする中、最近の事業として環境省の「CO2 削減ポテンシャル診断」、経済産業省の「省エネルギー診断」を受け、抑制及び改善すべき部分が具体的に増えてきた、更に10年以上継続する認証登録「エコアクション2.1」環境負荷への削減取組みと前述の診断事業結果を踏まえた効果的な取組推進を図っています。③⑦⑩⑬⑮</p> <p>3、女性、高齢者、外国人への雇用を行う。③⑤⑧⑩</p> <p>4、社員教育と業務に係る技術教育を自社や外部講師にて開催、お客様への廃棄物説明会の開催や、施設への案内により適正処理への理解の為、個人、企業、県内外からの視察受入れ中。④</p> <p>5、産業廃棄物処理業として騒音、振動、悪臭の抑制取組。⑥⑪⑫⑬⑭⑮</p> <p>6、花や緑による「緑の美ら島」への実現のため、緑化の取組を積極的に推進しています（弊社は花と緑に囲まれた環境にあります）。⑮</p> <p>7、雇用環境の整備により、社員が働き易く定年後も安心して再雇用、再々雇用へと働ける社会の組織カンパニーの実現と社員の幸せのため「働き方改革」への雇用形成を目指しています。⑤⑧⑩</p> <p>8、環境にやさしい循環型社会の構築、廃棄物発生抑制、再使用、再利用・再資源として3Rの推進。⑫⑬</p> <p>9、有給休暇その他休み等でワークライフバランス促進及び研修制度、自己啓発の促進、福利厚生充実など働き方改革の構築の為の推進中。③⑧⑩</p> <p>10、廃水処理への取組み。⑭</p> <p>11、グループ会社の(株)倉敷、(有)華南産業、沖縄県医療廃棄物事業協同組合と共に協調体制を図り、互いを補いながら、力強いパートナーとして躍進しています。⑰</p> <p>12、ISO 14001 環境マネジメント令和3年内には認定取得予定（ISO9001 品質マネジメント既取得）。③⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
30	<p>株式会社 クガニ</p> <p>代表取締役 上間宏明</p>	<p>●食品残渣から自然エネルギー肥料・飼料へ（脱炭素） 一般廃棄物処理事業で集まった食品残渣をアメリカミズアブの幼虫を活用することで、電気、燃料を使用した発酵機械よりも短期間かつ低コスト、環境に優しい自然エネルギー肥料を生産します。また、アメリカミズアブは家畜・水産動物の飼料としての整備を進めます。</p> <p>●無農薬・無化学肥料・循環型農業（自然環境の保全） 自然エネルギー肥料を用いて農作物を育てると同時に、今ある環境を最大限利用する形で『アクアポニックス農法』を採用した水生野菜を栽培していきます。現在ある養殖池、広大なハウス、微生物の活用、近くを流れる水源を利用した循環型ファームを作り、電気に頼らない自然のサイクルで農作物を生み出します。</p> <p>●将来の食糧危機への対応（産業と技術革新の基盤） 家畜や水産業魚粉の供給不足が懸念されている中、アメリカミズアブは高いタンパク源として世界から注目されている飼料であり、それを用いて鶏などの家畜・水産動物や未来の食糧危機問題の解決策としての昆虫食を飼育し、機械に頼らない自然サイクルの中で人々へ安心・安全な食の提供を行なっていきます。 「食品残渣から食卓まで」をコンセプトにそれらの循環型システムを確立し、地域の雇用創出・経済活性化（働きがい・経済成長）を実現します。そして地域の環境を守り続けていきます。</p> <p>地域ブランド化活動（つくる責任）の一つの取り組みとして、沖縄県内並びに県外のエンタメ業界とのタイアップ企画（パートナーシップ）も進行中です。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
31	<p>国建グループ</p> <p>(株)国建 代表取締役社長 比嘉 盛朋</p> <p>(株)環境設計国建 (株)ジオテクノ国建</p> <p>計 3 社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2030 年までに新築建築物の平均で ZEB の実現を目指す為、高効率機器の導入や太陽光パネル設置による自家発電等の検討・提案を積極的に行い、省エネと快適性の両立に取り組んでいる。また、計画段階から実施設計まで一貫して社内で行える弊社の強みを生かし、沖縄という地域に特化したシステムを提案・発展させ、持続可能な地域づくりに貢献していく。 ●観光インフラの充実や二次交通の対策は重要なものとなっている。弊社では、国や県の発注業務に携わり、地域資源を生かした国際交流拠点の形成や安定的・効率的な物流環境の創造、安心・安全を支える災害に強い強靱な県土の形成に取り組んでいる。 ●調査及び計画、設計業務を通して、製品ライフサイクルの観点を通じ、スクラップ等の廃材を活用した建材等を積極的に盛り込む提案を行う。 ●耐震診断業務等に関わりながら、既存建物の長寿命化に係る技術的な提案を積極的に行う。 ●ボーリング時の掘削孔の復旧作業には掘削時に排出された掘削屑を利用するとともに再生材（コンクリート等の廃材を砕いたもの）を主として用い、天然資源（採掘所の岩石）利用の削減や再生材の利用で廃棄物の削減を目指す。 ●自然災害時にも事業を継続する事が特に求められる官公庁舎やエネルギー企業社屋の設計において、要望に応じ、BCP を導入している。構造計画では免振構造の採用を、建築計画では防災拠点として機能し得る空間構成や備蓄倉庫の確保を、設備計画では非常用発電機やマイクロコージェネレーションガスエンジン発電機の設置検討等、適宜事業に応じ最適な提案を行うことで、気候関連災害や自然災害に対するレジリエンス及び適応の能力強化に取り組む。 ●「まちづくり」という間口の広いテーマを扱う企業として、外注・JV 等連携する業種や人材もバラエティに富むことから、沖縄県の持続可能な発展に関し、これらのパートナーシップ強化を進める。 ●官民連携や PFI・PPP 事業など対応の構築を進め、沖縄の自立発展に寄与し、沖縄らしい持続可能な開発を進める。 	    


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
32	ケイスリー株式会社 代表取締役社長 CEO 幸地 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体に向けたヘルスケア推進・市民行動変容の支援事業（浦添市、西原町等に向けた大腸がん検診受診勧奨事業等、ヘルスケア系の市民 QoL 向上に向けた取り組み、地方自治体に向けたコロナ感染予防情報発信の支援） ・ 地方自治体に向けた子育て支援情報発信・市民行動変容の支援事業 ・ 行政基本計画等への社会的成果コンサルティング支援（沖縄県科学技術振興課等に向けた行政の基本計画、施策と社会的成果の紐づけや整理に関するコンサルティング支援） ・ 行政の SDGs 推進に神奈川県事業等、地方自治体に向けた SDGs 推進のコンサルティング事業 	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
33	<p>株式会社 敬想</p> <p>代表者</p> <p>宮城勇</p>	<p>弊社は、遺品整理や特殊清掃、消臭消毒除菌作業、ハウスクリーニング、産業廃棄物収集運搬等を主な業務としております。ご依頼者様に気を遣わせないように、安心してご相談や作業をできる環境づくりを心掛け、日々地域に貢献していけるよう努めております。弊社では、SDGs 目標の達成に向けて以下の取り組みを行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社ではフルボ酸という 100%天然由来の腐植質を使って消臭消毒除菌等を行っております。100%天然のもので、人体やペット等への被害や刺激臭等も御座いませので、作業中はもちろんのこと、作業後も安心安全に住居、施設等をご利用していただけます。フルボ酸は、人間や動物、自然農業、畜産、漁業といったあらゆるものに対して数多くの効果効能があります。土壌汚染、環境破壊、安全な消毒液等あらゆる方面へフルボ酸の可能性を発信していきます。 ・これまでは処分しておりました遺品整理や生前整理、ゴミ屋敷等から出る家具、家電、食器等を海外へ輸出し、ゴミの量を最小限に抑えます。日本では不用品として売れづらいものも海外では日本製ということで重宝されるものも多くあります。いままでかかっていた廃棄コストを大幅に削減し、浮いたコストをご依頼者様に還元したり、他社と比べて低価格での不用品回収サービスを実現しております。 ・生前整理等の現場では、ご高齢の方と一緒に作業するといった場面がありますが、こういった現場では女性が活躍致します。やはり、男性よりは女性の方が安心できたり相談しやすかったり、特にお身体の悪い方には気を使わせてしまうケースもあります。弊社では、積極的に女性も雇用しております。特殊清掃の現場では病原菌やウイルス、新型コロナウイルスの除染作業等の危険な現場を防護服や特殊マスクを装着して命がけで戦い、一日でも早く平穏な日常を取り戻すべく努めております。 <p>これからも末長く安心安全な地域づくりに貢献させていただくとともに、ここ沖縄から日本を、世界を繋げていき、スタッフ一丸となって SDGs を達成していくため上記の取り組みを行っていきます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
34	<p>独立行政法人 高年齢・障害・求職者雇用 支援機構 沖縄支部</p> <p>沖縄職業能力開発大学 校</p> <p>校長 高良 富夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学卒者訓練及び在職者訓練を通して、技術的・職業的スキルを付与し、働きがいのある人間らしい仕事に必要な技能を備えた若者を育成しています。 ●ものづくり現場である工場や事業所等における計測・制御技術、電気設備の保守管理の技能・技術に加え、環境・エネルギー有効利用技術を習得します。 ●沖縄産学官イノベーション創出協議会への参画を通して、県内のものづくり企業、学術研究機関などの交流を通じ、新たなビジネス・イノベーションの創出を目的とした県内のものづくり産業の振興を目指しています。 ●生活空間と人間、社会、自然との関わりを理解し、生活空間の環境創出、生産システムや自然現象に対する安全性等に関する知識及び技能・技術を習得します。 ●全国の学生が参加する沖縄海洋ロボットコンペティションの開催および参加を通して、海洋資源関連技術の発展に寄与しています。 	 <p>4 質の高い教育をみんなに 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
35	コーダー道場名護 安藤 元気	<p>子どもたちを対象とした無料のプログラミングクラブをボランティア活動として開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末、名護市を中心した沖縄県北部地域の会議室において簡単なゲームやアニメーションを作ったり、ロボットに関するワークショップを開催しています。 ・対象は概ね7歳から17歳まで、定員は10名程度です。 ・貸出用のパソコンやロボットがあり、子どもたちが技術に触れる機会を提供しています。 ・地域の小学校や中学校、子ども食堂、ラジオ局、大学など多様なステークホルダーと連携した取り組みを行っています。 ・学習支援活動、ワークショップ、講演会などの実施 	 <p>1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
36	<p>株式会社サンクス沖縄</p> <p>代表取締役 神田 哲良</p>	<p><u>1. 貧困をなくそう</u> 「沖縄子どもの未来県民会議」の沖縄未来サポーター会員になり、その活動を継続的に支援しています。</p> <p><u>5. ジェンダー平等を実現しよう</u> ジェンダーによる男女差別がなく、一人一人の実力と個性が輝く会社です。</p> <p><u>8. 働きがいも経済成長も</u> スキルアップを目的とした資格取得へのサポート、様々な研修やセミナー受講を行っています。</p> <p><u>11. 住み続けられるまちづくりを</u> 社会に貢献し、地域から必要とされる企業を目指すとともに、誰もが住みやすい居住空間を提案しています。</p> <p><u>12. つくる責任つかう責任</u> 中古物件や空き家、休遊地などを有効活用することで、新たな暮らしや生活の実現に貢献しています。</p> <p><u>14. 海の豊さを守ろう</u> 持続可能な開発のために、水産資源を保全する形で利用しています。</p> <p><u>16. 平和と公正をすべての人に</u> 「誠一筋」「人に尽くす」を経営理念に掲げ、誠実で正直、公平・公正な仕事に徹し、関わる全ての人へ感謝の心を忘れずに行動しています。</p> <p><u>17. パートナーシップで目標を達成しよう</u> 同じ業界だけではなく、異業種の方々との交流を図り、持続可能な開発のための実現に向けた情報共有をしています。</p>	 <p>The image shows eight SDG icons arranged in a grid. The icons are: 1. Red square with white figures (Goal 1: No Poverty), 5. Red square with white female symbol (Goal 5: Gender Equality), 8. Red square with white bar chart (Goal 8: Decent Work and Economic Growth), 11. Yellow square with white buildings (Goal 11: Sustainable Cities and Communities), 12. Yellow square with white infinity symbol (Goal 12: Responsible Consumption and Production), 14. Blue square with white fish (Goal 14: Life Below Water), 16. Blue square with white dove (Goal 16: Peace, Justice and Strong Institutions), 17. Blue square with white interlocking circles (Goal 17: Partnerships for Goal Achievement).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
37	株式会社シーサー 代表 稲井日出司	<p>取り組み 1：サンゴに食害被害をもたらすレイシガイを定期的に駆除しています。捕獲したレイシガイをアクセサリーに加工してゲストに販売、その費用の一部をサンゴの保全活動へ寄付しています。</p> <p>取り組み 2：那覇市にある会社近くの港周辺で、これまで 15 年以上、毎週 1 回のごみ拾い活動を継続して実施しています。現在は、きれいな海の実現を目指す「BLUE SHIP」に登録し、その活動に参加しています。</p> <p>取り組み 3：沖縄を訪れる全国からの修学旅行生のみなさんへ、環境教育のコンテンツを盛り込んだメニューを提供しています。</p> <p>取り組み 4：ダイビング・マリン業界で、ダイビングインストラクターが働く環境を改善したいとの思いから、一般社団法人沖縄マリンレジャーセイフティービューロー様が進める「SDO セイフティ・ダイビング・オキナワ」の取り組みに賛同し、協力しています。</p> <p>取り組み 5：観光業の持続的発展を目指し、量から質への転換に取り組んでいます。同じ志をもつ県内外の事業者と連携し、沖縄の資源を活かす「AT アドベンチャーーツーリズム」商品の開発を目指します。</p> <p>取り組み 6：多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげるダイバーシティ経営に取り組んでいます。その取り組みが認められ、経済産業省より、「平成 27 年度 新・ダイバーシティ経営企業 100 選」に選出されました。</p>	 <p>The image shows six SDG icons: Goal 4 (Quality Education), Goal 8 (Economic Growth), Goal 10 (Reduced Inequalities), Goal 14 (Life Below Water), Goal 15 (Life on Land), and Goal 17 (Partnerships for Goals).</p>






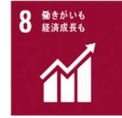
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
38	株式会社シー・テクニ コ 前田 博	<p>私たちは、海や自然に関連した事業を竹富町（小浜島）及び石垣市（石垣島）を拠点として、マリンアクティビティツアー等を主催・運行等している会社です。「自然界とのふれあい体験を通じて育む共生社会の創造」を企業理念として掲げているため、自然環境分野に関連した目標達成の一助となるべく、取組みを推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「持続可能な社会づくりの担い手」を育む 沖縄の人々や世界中の人々が豊かに暮らし続ける地球環境を守るために、自然環境や海に関係する知識や気づきを得る機会を、国籍、人種、性別や年齢等を問わずに提供することで持続可能な社会づくりの担い手を育みます。 ●「生物多様性の保護」を実現する 豊かな自然環境や生物多様性を守るために、自然環境や生物保護の重要性を周知し、海洋生物などへの影響に配慮した持続可能な利用のための行動をします。そして、正確な情報を基にした、ブルー・エコノミー促進の一助となります。 ●パートナーシップで目標を達成する 私たちの取組みや他団体などの取組みを促進して各種目標を達成するために、私たちだけではなく様々なステイクホルダー（行政、NPO、事業者、地域、学校などの各種団体や人達）を巻き込んだパートナーシップにより目標達成への行動をします。 	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for goals 4 (Quality Education), 5 (Gender Equality), 12 (Responsible Consumption and Production), and 13 (Climate Action). The bottom row contains icons for goals 14 (Life Below Water), 15 (Life on Land), and 17 (Partnerships for Goals).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
39	合同会社しんかの力 代表社員 宮城力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気や怪我を少なくし、身体を動かし、栄養バランスのとれた食事をする事で、生活困窮者では、生活保護を受給しながら利用することもできる。また、社会福祉協議会と連携しながら、最善の支援ができる体制作り。私達の支援を受けることで「健康長寿」を伸ばすこと。 ・ 学校スタイルにしたデイサービスにすることで、学びの中から、認知症の進行を抑えた取り組みを実行。 ・ プライベートの時間を有効につかって家族や友人との時間を充実することで、職員の「働きやすい環境」づくり。 ・ 高齢となって自主的に外出の機会が減少した方でも、現在は月に 2 回糸満の市場で、デイサービスの利用者・職員・市場の店舗スタッフ・買い物客と交流をもち体操やレクリエーションを実行している。「地域との交流」を持ちながら生活できる支援の継続。 	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for goals 2 (Zero Hunger), 3 (Good Health and Well-being), 4 (Quality Education), and 8 (Decent Work and Economic Growth). The bottom row contains icons for goals 11 (Sustainable Cities and Communities), 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions), and 17 (Partnerships for Goal Achievement).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
40	株式会社新東通信 谷 喜久郎	<p>【紙、プラスチックの代替え、サステナブルに活用できる新素材 LIMEX の普及】を日本各地の企業、自治体への導入、活用を支援、コンサルティングしております。</p> <p>沖縄県内でも、企業様の名刺やパンフレット等の紙製品を LIMEX 製品へ変更をさせていただいております。また、沖縄県内の印刷会社様ともパートナーシップを組み LIMEX での印刷を開始致しました。プラスチック製品の代替えとして LIMEX 製の抗菌マスクケースも沖縄県内の商業施設で販売させていただいております。</p> <p>沖縄 21 世紀ビジョンに基づいた下記の目標を力強く推進してまいります。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 2 持続可能な循環型社会の構築 石油由来のプラスチック素材を生分解性の LIMEX に切り替えることにより海洋汚染を抑制します。また、LIMEX の沖縄県内でのアップサイクルモデルの実現を目指します。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 3 低炭素島しょ社会の実現 バイオ由来樹脂を活用した LIMEX の使用により CO2 排出削減に寄与します。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 5 文化産業の戦略的な創出・育成 LIMEX 製品にびんがた等沖縄独自のデザインを採用することにより沖縄伝統文化産業の育成に寄与します。</p> <p>■ビジョン III 基本施策 5 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成 LIMEX 対応の印刷会社、メーカーとのサイクルモデルを沖縄県内の企業と構築することにより、地場産業の高度化と人づくりに貢献する。</p> <p>■ビジョン III 基本施策 9 ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 沖縄の資源と伝統文化（びんがたデザイン等）を LIMEX ビジネスモデルで商品化し地域ブランドとし販路拡大する。</p>	     


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
41	タピック沖縄株式会社 宮里好一	<p>●健康的な生活の促進 ウェルネスツーリズムの確立 日々の生活のサポートとして、心理カウンセラーや医療関連と連携し健康に不安を抱える方へ社会に復帰するプロセスを行う。自然豊かな中に佇むウェルネスホテルに宿泊しながら、専門家による運動指導、カロリー計算された食事、天然温泉の利用いただけるプランを販売し、生活習慣の見直し、健康長寿・健康の達成、豊かな人生をゴールとする。</p> <p>●雇用、技術教育、あらゆるレベルの教育や職業訓練の実施 特別支援学校生、就労支援センターの就業体験を積極的に受入れています。年間 5 校程度。体験より就労に繋げ、障がい者雇用を推進している。ホテル周辺の小学校、中学校、高等学校にて、出張マナー講座、職業人講話を実施。社会人としての接遇マナーに加え、沖縄の観光産業での働きがい伝授。2019 年実績 26 校。</p> <p>●天然ガスで稼働する発電機で電気と熱の供給システム実用化 水溶性天然ガスを活用した発電・排熱システム「コージェネレーションシステムの導入」。システムの発電・排熱で、ホテルの照明や空調の電気量の約 10%、給湯器約 70%分を賄うことができる。年間約 2,150 トンの CO2 削減。2016 年コージェネ大賞 民生用部門特別賞受賞</p> <p>●広大な緑地を使用した健康運動（ヨガ・グランドゴルフ）の実施 35,000 坪の広大な敷地には、県内屈指のハードコートテニス、グランドゴルフができます。グローバルウェルネス DAY、年始初日の出ヨガも開催。健康運動の場所として市民へ提供。</p> <p>●持続可能な観光業を促進する ホームページにて南城市の魅力を配信、健康ウォークをテーマにした eco スピリット&ライドウォークの開催拠点として実施。南城市食材の積極的な取り入れ、県産品の物品の販売をし観光促進を行う。</p> <p>●効果的な公民連携の実施 県内外企業が利用可能な快適なワーケーション施設を構築し、地域課題の解決・地域事業者への先端 IT 導入・沖縄ワーケーションを促進する事を目的とする。</p> <p>●天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用 ユインチホテル南城には、地底 2119m、約 500 万年前と 5400 万年前の異なる時代の地層からブレンドされた太古の海水が含まれた温泉を抽出。57.5 度という高温で汲み上げる事を可能とし、加水・加熱、ろ過処理を施す必要がなく、温泉成分をそのまま実感することができます。疲労回復、うちみ、慢性消化器病、病後回復、美容に効果が期待され、地域の皆様に癒しの場として活用いただいています。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
42	<p>てるまさグループ 代表取締役社長 照屋 圭太</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社てるまさホールディングス ・株式会社照正組 ・株式会社照正興産 ・株式会社ケアサポート ・株式会社てるまさリース ・株式会社うららか <p style="text-align: right;">計 6 社</p>	<p>照正組では地域との関りを大切にし、経済・社会・環境への活動を行っております。経営理念である「ずっといっしょ ずっとしあわせ」を通して SDGs の目標に取り組んでまいります。</p> <p>《経済》 自社の取り組みとして育休支援や残業時間短縮に向けた改善等を行い社員の働きがいのある環境をサポートしています。また、女性が活躍しやすい職場環境づくりへの配慮も行っております。</p> <p>《社会》 沖縄子どもの未来基金、ユニセフや世界食糧デーなど貧困問題に取り組む支援を行っております。 また、人材育成として自社で様々な研修を実施しており、資格取得へのバックアップ体制も整っております。</p> <p>《環境》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動の一環として、近隣地域の海岸線沿いの清掃やごみ拾いを行っており地域コミュニティの参加や海洋汚染の防止に貢献しております。 ・てるまさグループ社員全員へエコバックを配布し、SDGs への関心を持ってもらうと共に環境への意識向上を図っております。 ・建築現場では再利用が可能な土壌改良材を使用し不要な廃棄物を最低限に抑えるよう努めております。また、海岸線沿いの工事では汚濁防止膜を使用する事で土砂の流出を防止し、使用する重機においても振動や騒音の少ない機械を選定し海洋生物への影響に配慮しております。 <p>《福祉》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいをお持ちの方が社会と関わりをもち自立できるよう、社会福祉法人と連携しグループ会社内の清掃業務等を発注し就労を支援しております。 ・グループ会社で障がい福祉サービスを立ち上げ、自身の力で自分らしく生活できることをコンセプトに、そして地域と障がい者を繋ぐコミュニティの場としてグループホームと B 型事業所を開所いたしました。今後も、障がいをお持ちの方への業務を幅広く展開し就労を支援いたします。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
43	<p>株式会社電通沖縄</p> <p>代表取締役社長 奥田 敏博</p>	<p>電通沖縄は、沖縄企業・自治体が抱える様々な課題に対して“コミュニケーションに関するすべての領域”でベストソリューションの提供を目指しています。</p> <p>SDGs については、電通として、早くから電通 TeamSDGs を立ち上げ、SDGs 生活者調査を毎年発表し、また SDGs コミュニケーションによる情報共有とノウハウを共有してきました。電通沖縄は、そのネットワークを活かしながら地域密着の会社として沖縄の未来のために、また沖縄と世界を繋ぎ経済発展に寄与するために、この度、「電通 TeamSDGs OKINAWA」発足し沖縄における SDGs コミュニケーションを推進します。</p> <p>●2021年2月1日に「電通 TeamSDGs OKINAWA」発足。 「コミュニケーションで SDGs を創っていくプロフェッショナル」を基本方針に、沖縄の風土、社会における独自の課題を弊社が有するソリューションを通して解決に導き、SDGs アクションに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学と連携した SDGs 調査の実施 「沖縄県内における SDGs の取り組み状況アンケート」 琉球大学観光産業科学部 国際地域創造学部 観光経済・統計ゼミと連携して沖縄における SDGs 企業調査などを実施。 ・沖縄企業の SDGs コミュニケーションをサポート ・社員全員に SDGs 勉強会を定期的実施。その知見を共有するとともに、SDGs バッチを配布。 	 <p>1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
44	<p>東京海上日動火災保険株式会社</p> <p>沖縄支店長 熊谷 潤</p>	<p>弊社はパートナーである代理店とともに、自治体・金融機関・商工三団体等の皆様と一体となってSDGsを推進します。</p> <p>沖縄に寄り添い貢献する為に「沖縄支店(うちなーエリア振興チーム)」を設立し、組織一丸となって推進しています。</p> <p>●『BCP(事業継続計画)』策定支援活動（ゴールNo.9, 11, 13, 17）</p> <p>★社会課題の解決に向けた取り組みとして、弊社のパートナーである代理店と連携し、県内企業へのBCP策定支援を行っています。</p> <p>★希望される県内企業に対し、弊社による無償の直接支援を実施。2020年度は、県内上場企業3社、中小企業2社のBCP策定支援を行いました。作成済BCPシートのチェック、サンプル資料等の提供、取組み事例の紹介、簡易版BCP策定ファイル、マニュアルの提供等、具体的なアドバイスを実施。今後さらに、沖縄県、金融機関、商工3団体と連携しBCPセミナー(机上シミュレーション等ワークショップ)の提供や上記支援を行い、県内企業のBCP普及に広く貢献していきたいと考えています。</p> <p>★未来の沖縄県のインフラとなる沖縄 Maas、スマートシティ等の構想にも活かせるようBCPの研究をして参ります。</p> <p>●『健康経営優良法人認定』取得支援活動（ゴールNo.3, 8, 11, 17）</p> <p>★希望される県内企業に対し、弊社「地方創生・健康経営室」による無償の直接支援を実施。2020年度は、経済産業省が推進する「健康経営優良法人認定制度」において、2021年度大規模法人部門1社、中小規模法人部門2社が認定取得され、その内1社は県内初の全国上位500社の企業に認定される「ブライツ500」を取得いただきました。</p> <p>★2021年度は、健康経営の裾野を拡げるために、協会けんぽ沖縄支部が推進する「福寿うちな～健康宣言」、厚生労働省沖縄労当局が推進する「ひやみかち健康経営宣言」の普及も行いたいと考えています。</p> <p>★今後さらに、沖縄県、金融機関、商工3団体と連携し「健康経営セミナー」の提供や上記支援を行うことで、弊社のパートナーである代理店とともに、県内企業の健康経営普及に広く貢献していきたいと考えています。</p>	 <p>The image shows six SDG icons: 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), 11 (Sustainable Cities and Communities), 13 (Climate Action), 17 (Partnerships for Goal Achievement), 3 (Good Health and Well-being), and 8 (Decent Work and Economic Growth).</p>




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
45	<p>東武トップツアーズ株式会社 沖縄支店</p> <p>支店長 中田修樹</p>	<p>◎働きやすく、働きがいのある環境の提供《3, 4, 5, 8, 10》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別や国籍を問わない、人材の活用促進 ・時差出勤やテレワークの積極活用による、働き方改革の促進 ・産休・育休・介護休暇の整備と利用拡大 ・資格取得支援制度によるプロフェッショナリズムの追求 <p>◎地球環境問題への取り組み《6, 7, 12, 13, 14, 15, 17》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人日本旅行業協会（JATA）「旅行パンフレットのリサイクルシステム」への参加 ・JATA による環境保全活動への当社社員の参加 ・当社内での取り組み（ウォームビズ、クールビズ、社内資料のペーパーレス化の促進など） ・お客様へのご提供資料やクーポン類のペーパーレス化 ・エコツーリズムのご提案と促進 <p>◎世界の子供にワクチンを日本委員会パートナー《3, 12, 17》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供にワクチンを日本委員会（JCV）のペットボトルキャップ回収や途上国の子どもたちへワクチンを送る活動に、パートナーとして参画 ・JCV の支援報告会やパートナー同士の情報交流会への積極的な参加 <p>◎地域創生事業による地域活性化《8, 11, 12》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を元気にする旅行商品の開発（徳島県上勝町の SDGs 研修ツアー等） ・東日本大震災などの災害に対する復興支援への当社社員による継続的なボランティア活動 ・インフラツーリズムの促進（首都圏外郭放水路を活用したツアー） ・新しい旅行スタイルのご提案（新潟県妙高市のワーケーション事業等） ・一般社団法人移住促進機構（JOIN）特別法人活動としての活動 <p>◎学習プログラムを通じた教育事業への参画《2, 4, 17》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来技術推進協会 SDGs ボードゲーム・公認ファシリテーターの育成 ・「北九州市 SDGs 未来都市」への探求学習プログラムの提案 <p>◎各地域における SDGs プロジェクトへの積極的な参画《8, 9, 11, 17》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 SDGs クラブ会員 ・関西 SDGs プラットフォーム会員 ・「清流の国ぎふ」SDGs 推進ネットワーク会員 ・北海道 SDGs 推進ネットワーク会員 ・地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム会員 ・国連グローバルコンパクト署名企業による、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）SDGs 分科会への参加 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
46	株式会社トリム 代表取締役社長 坪井 巖	<p>全国的に資源リサイクルが困難とされている廃ガラスびん、特に混色のびんについては今現在でも有効と言えるリサイクル方法がありません。弊社ではガラスをガラスのままリサイクルする従来方法とは異なる独自の技術で、ガラスの色に関係なく廃ガラスを原料としてガラスとは全く違う形状・性質の人工軽石「スーパーソル」の製造方法を確立しました。スーパーソルは用途に合わせた製造が可能で多用途で活用を広げており、沖縄発ガラスリサイクルのオンリーワン技術を日本全国、世界に向けて発信し地域融合型のリサイクル社会システムを構築に向けて取り組んでいます。</p> <p>●土木分野では軽量性を活かして、土圧軽減を目的とした現場で使用されており、擁壁の背面や軟弱地盤上の盛土などこれまで使用されてきた天然資源の削減にも繋がります。また既設構造物の延命化などでも活用されることから新たな資源の消費抑制にも効果があります。</p> <p>●緑化分野では多孔質構造を活かし、水はけの悪い土壌の改良により植物の生育に必要な環境を整える資材として使用され、さらに軽さを活かし屋上緑化やベランダ緑化で使用される土に混合する事で、建物にかかる荷重を軽減する資材としても使用されています。また従来の天然資材の使用抑制に繋がります。</p> <p>●農業分野においても水はけの悪い圃場の土壌改良や暗渠排水、高設栽培（ベンチ栽培）など土の軽さや作物の生育を助ける資材として活用されています。スーパーソルを使用する事によって物理的な効果だけではなく、作物の病気が抑制された等の報告も頂いています。また従来の天然資材の使用抑制に繋がります。</p> <p>●スーパーソルの多孔質構造は水質浄化やろ過など分野においても活用されつつあり、ナノバブルや微生物とのコラボレーションによって、畜産排水の浄化や雨水のろ過、養殖水槽の濾材としての活用も新たな使用用途として広がっています。</p> <p>●ガラスリサイクルのオンリーワン技術として、ご注目を頂き全国各地、海外からも多くの見学を受け入れております。その中で環境問題等についても啓蒙啓発に取り組んでおり、SDGs 関連の講習依頼についても積極的に受け入れしています。</p> <p>●地域から排出されたガラスを地域で再資源化して、再資源化された多用途資材スーパーソルをその地域のあらゆる分野にてご活用する事を事業としてご提案をさせて頂いており、全国 13 箇所スーパーソル製造プラントを設置稼働しており、ガラスリサイクルにおける地産地消の仕組み構築は着実に広がっております。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
47	<p>那覇市銘苅小学校区まちづくり協議会</p> <p>会長 平得 永太郎</p>	<p>○フードドライブ・フードバンクの運営・支援。1 毎月1回行われる運営委員会にて、自宅にある余った食料品（缶詰・インスタント食品・お米等の期限切れで無い物）を呼びかけて集め、必要団体へ提供する。</p> <p>○地域での歩く楽しみとして「歩き旅」の実施。3 毎月1回。地域の健康増進を兼ねて「歩き旅」を開催。住んでいる地域から歩いて近隣市町村の名所へ行き、歴史文化を感じながら健康づくりを行う。</p> <p>○キャリア教育支援「企業人による職業講話」の実施。4 地域内小・中・高校生及び大学生向けに「職業講話」を通じて、質の高い教育環境づくりへ寄与していく。</p> <p>○人権・国際交流として「国際青少年演劇フェスティバル」の後援。10 演劇を通して、異文化交流による他者への尊厳と寛容を共有し、国際社会に生きる仲間として「不平等」の無い国際社会を目指し、次世代の子どもたちへ伝えいく。</p> <p>○2ヶ月に1回の「ゴミ拾いクリーンデー」の実施。11 新都心公園を中心に18年間継続してきた地域美化活動として、地域の住み良いまちづくりへ寄与していく。</p> <p>○災害時における「避難行動要支援者の支援体制づくり」の構築。3. 11 高齢者や障がいのある方など、災害が発生した時に自力で避難することが難しい「避難行動要支援者」の皆様が安心して暮らせることを目指し、避難支援体制の整備を那覇市と一緒に進めています。防災講話やワークショップを通して、要支援者への支援方法の検討や要支援者個人の避難支援プランの作成を行う。</p> <p>○毎月一回の運営委員会にて「平和と公正」の大切さを伝える。16 平和と公正を意識しながら運営活動をし、地域社会へ伝えて行く。</p> <p>○県内大学と連携し「地域福祉研究発表会」を行う。3. 17 年に1回県内大学の学生と地域研究を行い、地域福祉の可能性について取り組む。</p>	      


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
48	<p>株式会社那覇電工</p> <p>代表取締役 比嘉 幸宏</p>	<p>沖縄 21世紀ビジョン</p> <p>【ビジョン1】沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島 (1) 自然環境の保全・再生・適正利用・・・珊瑚礁保全団体活動への協力 (2) 持続可能な循環型社会の構築・・・エコアクション21の取組 (3) 低炭素島しょ社会の実現・・・カーボンオフセットの実施（CO2 排出ゼロ）</p> <p>【ビジョン2】心豊かで、安全・安心に暮らせる島 (1) 健康・長寿おきなわの推進・・・健康診断・スポーツ／レクリエーションの実施 (2) 子育てセーフティーネットの充実・・・ワーク・ライフ・バランスの取組</p> <p>【ビジョン3】希望と活力にあふれる豊かな島 (6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出・・・ゆいくる材の使用 (8) 地域を支える中小企業等の振興・・・若手採用・商工会／業界団体活動 (10) 雇用対策と多様な人材確保・・・資格取得支援の推進・インターンシップ</p> <p>【ビジョン5】多様な能力を発揮し、未来を拓く島 (1) 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進・・・地域ボランティア活動・小中高の学生のための職場体験 (5) 産業振興を担う人材の育成・・・新卒者の積極的採用・継続教育（CPD）の取組 (6) 地域社会を支える人材の育成・・・商工会活動・業界団体活動・地域貢献活動</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
49	<p>株式会社南都</p> <p>代表取締役社長 大城 宗直</p>	<p>【持続可能な開発・発展・教育】 創業 1971 年、社訓「観光資源は自然を克服するものではなく育むことによって調和がとれ生きてくるものである」に基づき、沖縄独自の自然・歴史・文化等、地域資源の価値を磨き伝える事を使命としています。</p> <p>■おきなわワールド、ガンガラーの谷、大石林山（やんばる国立公園）をはじめ人知れず眠る地域資源を活用して事業化する事で雇用を創出し、社会経済へと貢献しています。また近年ではガイドツアー商品を展開することで、ガイドが参加者へ直接地域資源の価値を伝え、参加者の関心や理解を高めています。</p> <p>■武芸洞遺跡、サキタリ洞遺跡（ガンガラーの谷）では継続的に県立博物館・美術館様による発掘調査が行われ、旧石器時代の人骨や石器、貝器等世界的にも重要な発見がなされており、毎年調査が終わる時期には現地で見学会を開催して県民を中心に教育普及活動を実施しています。</p> <p>【環境保全活動】 沖縄の自然を未来へ継承していく為に、設備投資による省エネ化や、県内企業等と連携して環境保全活動に取り組んでいます。</p> <p>■2011 年…サンゴ焙煎コーヒー豆を使用した「35 リキュール泡盛珈琲」の製造・販売を行い、商品売上げの 3.5%を沖縄県内のサンゴ再生支援金に活用しています。また、毎年 3 月 5 日のサンゴの日には沖電開発様と連携して地域の子供たちへサンゴ植え付け体験などの教育普及活動も実施しています。</p> <p>■2015 年…おきなわワールド施設内の照明設備の LED 化や太陽光パネル設置等を実施し、CO2 を削減する事で県内企業として初めて「J-クレジット制度」の認定を受けました。認定を受けた後も、玉泉洞内の照明を LED へ入れ替えるなど継続的に省エネ化に取り組んでいます。</p> <p>■2019 年…商品の梱包等で使用して廃棄していた段ボールをノートやレターセットなどへ再利用する企画を県内のアーティストと連携して商品化しました。本製品の製作は八重瀬町の笑来笑来様、那覇市の障害者支援センター様と協働で行っています。</p> <p>【文化の継承(伝統芸能・伝統工芸)】 社は「旅は知性の源であり郷土を現し郷土に奉ずる」 おきなわワールドは沖縄県から博物館相当施設の指定も受けています。先人たちから継承されてきた郷土沖縄の伝統芸能（エイサー）や伝統工芸（琉球ガラス、紅型、機織り等）を事業化する事で、雇用を創出し、また技術や経験を伝承していく事で持続的に人材を育成して文化を未来へと継承します。</p> <p>【こどもの貧困対策】 「沖縄子ども未来プロジェクト」の活動へ賛同し、2016 年の同プロジェクト開始当初から法人サポーターとして継続的に寄付を行っています。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
50	<p>株式会社西原環境おきなわ</p> <p>代表取締役 友野 貴康</p>	<p>1. バイオマス発電事業への参画 流域下水道（具志川浄化センター）から発生する消化ガスを燃料とした発電施設の設計・建設、運営を行っています。発電規模は年間約 1,900MWh で、約 540 世帯分の電力を賄い、約 1,470 トンの CO2 削減に貢献してます。 今後は、新規での類似施設の建設及び運営や当該施設での効率的な運転管理やガス発生量の増加提案等を行い、再生可能エネルギーの発電比率の向上に寄与したいと考えます。</p> <p>2. 再生水利用技術の検討や提案 下水処理水をそのまま海に放流すると浮遊物、窒素、リン等により、サンゴへの付着、海藻等の増殖でサンゴの生育に影響を及ぼすことが懸念されています。 下水処理水に高度処理を行い再生水として利用すれば、沖縄のサンゴ礁を大切な観光・漁場資源として保全し、次世代に受け渡すことができます。 弊社は、膜分離法と紫外線消毒法を用いた下水処理水の再生水利用技術をステークホルダーとともに実証試験を行った結果、緑農地への灌漑、散水用水として再生水利用技術を確立致しました。 この技術を自治体他へ提案し、施設化することで、農地、緑地に散布、その一部は土壌微生物等により自然浄化され、地下に浸透、地下水として再利用、その他は海へ流出、沿岸の富栄養化を軽減し、サンゴ礁を守り、海洋汚染の防止に努めたいと考えます。</p> <p>なお、上記取組は沖縄県の地勢に併せて、技術開発を行い、県内出身者を主体に活動を推進しています。また、弊社と資本関係にある会社は、国内の SDGs 促進に積極的に参画しており、具体的な行動を推進しています。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
51	<p>特定非営利活動法人 日本スリランカ次世代 育成サポート</p> <p>理事長 ディリープ・チャンド ララール</p>	<p>「多文化共生による平和な社会」を目的に、国際教育支援事業、多文化社会理解促進事業、異文化交流事業を行っている。また日本とスリランカの若者を中心に、自国が抱える課題だけでなく、国境や文化の枠を超えて互いに協力し合い、国際的な課題の解決に取り組める意識と能力を持った次世代育成を支援する。</p> <p>また当団体は10年以上沖縄とスリランカの相互発展として、異文化・国境の枠を超えて互いの伝統文化を尊重し交流事業を行ってきた「沖縄スリランカ友好協会」原点。</p> <p>【国際教育支援事業】 国際教育支援と次世代育成サポートで多様な能力を開発し、未来づくりに貢献する。スリランカで開校した「Kibou International College」と国際交流を実施しながら県内外の企業や民間団体や大学等と連携し、国際交流、人材育成のイベントやワークショップを実施。日本人の学生に対しスリランカへ短期留学や、日本企業を対象にスリランカへ企業研修等の実施予定。</p> <p>「Kibou International College」では、教員のユニフォームとして沖縄の県産品である「かりゆしウエア」（県内かりゆしウエア製造会社から寄贈）を、月に1回「JAPAN DAY」の行事で着用し日本に関する文化を学生に紹介。</p> <p>【多文化社会理解促進事業】 《助成金を活用したイベント実施》 多文化理解促進事業を行い、世界に開かれた交流と共生の島づくりに貢献しますマインドフルネスなど古くて新しい方法を紹介し、沖縄の心豊かで、安定・安心した暮らしに貢献する。</p> <p>具体的には公開ワークショップ『マインドフルネスで心の健康を保つ方法』3回開催。「企業×NPO」、「大学×NPO」、「地域×NPO」と連携することで、互恵的発展につながるようにパートナーシップに取り組んでいます。マインドフルネスプログラムは心を整え、体を整え、生活を整えるというやり方で健康と平和を保つ方法を学ぶものです。またオンライン同時配信や動画を公開。</p> <p>【異文化交流事業】 スリランカの懸け橋、アジアの架け橋により希望と活動に満ちた質の良い生活を支援する。具体的にはイベントや学生の短期留学、企業・団体の研修ボランティア等を通して異文化交流事業を実施。互いの伝統文化を尊重した交流事業を継続的に行う。</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
52	ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄 総支配人 村尾 茂樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストランでの紙製ストローの使用 ・ 客室アメニティのポンプボトル導入検討 ・ 植物性由来グリーンポリエチレン使用のランドリーバッグ導入 ・ 食品残渣の肥料化 ・ 従業員スペースの人感センサーの設置 ・ 全館照明の LED 化 ・ 発電機の排熱を利用した給湯 ・ 海水を使用した遊泳施設 ・ 外国籍スタッフおよび障がい者雇用 ・ コンプライアンスセミナーの実施 ・ 売上の一部を首里城再建への寄付とするクラフトプログラムの実施 ・ 恩納村と連携したサンゴの植え付け体験プログラムの企画調整および Green Fins 認定に向けた調整 ・ 地元青年会のエイサー公演や琉球舞踊公演 ・ 近隣ビーチの清掃活動 	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
53	<p>光電気工事株式会社</p> <p>代表取締役社長 金城 正司</p>	<p>弊社は、人に優しく調和のとれた社会システムを創るエンジニアリング企業として、SDGs の達成に向けた様々な取り組みを積極的に推進してまいります。</p> <p>＞エネルギー事業 温室効果ガス排出量の増加による地球温暖化への対策が深刻な問題とされており、脱炭素化に向け再生可能エネルギーへとシフトしようとしています。弊社においても太陽光発電と蓄電池設備等によるクリーンなエネルギーの持続的な普及に貢献していきます。また、高効率照明（LED 照明）等の導入推進により、温室効果ガス削減に貢献していきます。</p> <p>＞無電柱化事業 近年頻発する自然災害への対応として国においても防災・減災に向けた様々なアクションプランを策定しており、その一つに無電柱化の推進があります。弊社においても特殊な土木技術で持続的かつ、災害に強く、環境に配慮した社会づくりに貢献していきます。</p> <p>＞医療・介護・福祉事業 医療・介護・福祉のシームレスな情報共有と質の高い高齢者のケアの提供を支援します。また、お客様の幅広いニーズにお応えできる充実した製品・サービスをトータルソリューションでご提供いたします。</p> <p>＞通信端末販売事業 通信端末販売事業は、お客様に寄り添い夢のあるスマートライフ生活の提案販売・スマホ教室展開にてお客様サポート・新しく始まる5G・キャッシュレス等最新事業の取り組みで貢献いたします。また、法人ビジネスにおいては、ソリューション営業を中心に企業の業務効率化に即した商材の提案販展開をいたします。</p>	 <p>The image shows a collection of SDG icons arranged in four rows. The first row contains icons for goals 7 (Renewable Energy), 12 (Responsible Consumption and Production), and 13 (Climate Action). The second row contains icons for goals 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), 11 (Sustainable Cities and Communities), and 17 (Partnerships for Goals). The third row contains icons for goals 3 (Good Health and Well-being) and 11 (Sustainable Cities and Communities). The fourth row contains icons for goals 4 (Quality Education), 8 (Decent Work and Economic Growth), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), and 11 (Sustainable Cities and Communities).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
54	一般社団法人ファンプラス 理事長 渡邊 竜	<p>一般社団法人ファンプラスでは、沖縄県で可能なボランティア活動・イベントを通じ、持続可能な開発目標「SDGs」に基づいた事業展開を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 就職・転職支援事業 貧困による格差をなくすため、貧困世帯への就職・転職支援を行っております。 ■ ひとり親家庭フード支援 飢餓をなくし、食料安全保障及び栄養の改善を実現するため、ひとり親家庭、貧困世帯に向けたフード支援の広報、活動を行っております。 ■ 献血活動推進事業 すべての人々が安心して、健康的な生活を行うため、地域の献血活動を支援し沖縄県内の献血状況発信、告知等を行っております。 ■ 地域巡回パトロール活動 深夜徘徊などによる学習機会の喪失を防ぐため、定期的な地域巡回パトロール活動を行い、健全な教育機会を促進しております。 ■ LGBT の雇用推進・採用支援 性別のない履歴書の無料配布や、LGBT 等セクシャルマイノリティに向けた就職・採用相談、採用支援を行っております。 ■ より高いマッチングを重視した採用支援 ミスマッチによる退職や応募不足等を解消するために採用提案を企業向けに行っております。 ■ 地域清掃ボランティア活動 定期的な地域清掃活動（ビーチクリーンや市街地清掃）や動物の保護に関するボランティア等を通じ、活動に興味のある人材のマッチングを行い、より透明性の高い地域社会目指します。 ■ ボランティアイベントを通じたパートナーシップの実現 当社で行うボランティア活動はもちろん、世界的なムーブメント、SDGs に関する情報の発信、胃癌患者のサポート等を行っております。 	 <p>1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
55	<p>株式会社フードリボン</p> <p>代表取締役社長 宇田悦子</p>	<p>フードリボンは、未利用物や廃棄されていたものを生まれ変わらせ、高付加価値をつけることで商品化するプロデューサーとして、事業を展開している。</p> <p>1. シークワーサーまるごと製品化（2017年～現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やんばる「奇跡の森」を擁する大宜味村で育つシークワーサーを、あますことなくまるごと活用してジュースやスキンケア、アロマオイル、サプリメントなどに製品化し販売している。（シークワーサー果汁を絞った後に残る果皮の大部分は未利用のまま廃棄されていた） ・大宜味村おばあの教え「何事にも感謝の気持ちを持つこと」を軸に、これらの製品は全て「KISEKI LABEL（キセキ・レーベル）」ブランドとして商品イメージを統一。食物ひとつとっても細部まで価値を見出し、大切に感謝して使う姿勢を体現したブランドイメージを、消費者の心へ印象づけることを目指した。 ・事業の売上げの一部を、やんばる3村世界自然遺産登録推進協議会に寄付（2018年度）。今後も実施予定。世界自然遺産登録の支援により、シークワーサーを育む「奇跡の森」の保護に資することを意図している。 <p>2. パイナップルリーフまるごと活用（2019年～現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイナップル収穫後に畑に放置されていた葉の部分を活用して天然繊維と環境にやさしいプラスチック代替製品を製造販売する。売上げの一部を海洋汚染対策費用として活用する計画である。 ・パイナップル生産農家を支援し、持続可能な産業として展開していく。パイナップルを生産する過程で吸収されるCO2量は、綿花栽培する過程で吸収されるCO2量の4倍と大きい。既存のパイナップル植生を保ち、葉を活用した天然繊維を推進することで、気候変動の緩和にも資すると思料する。 	 <p>The image shows a grid of eight SDG icons: 2 (Clean Water and Sanitation), 8 (Decent Work and Economic Growth), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), 11 (Sustainable Cities and Communities), 12 (Responsible Consumption and Production), 13 (Climate Action), 14 (Life Below Water), and 15 (Life on Land).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
56	株式会社 BRILLIANT 代表取締役 福岡徹祐	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2 排出 0 を目指して、「未来の地球のために今できることを」を合言葉に、太陽光発電システム搭載のソーラーシステムハウスを多数納品。建設現場の作業員休憩所や、市民マラソン、自治体などでの多数の納品実績をあげている。 ・ 快適な環境で働いていけるようハラスメント対策実施。 ・ 「次世代育成支援対策推進法」に基づき、厚生労働省”仕事と子育ての両立支援に取組む企業認定制度”『くるみん認定』へ申請中。 ・ 育休、時短勤務、運営エステサロン連動などの福利厚生で働きやすい環境づくり。 ・ 誤印刷用紙などを小さく切って社内メモ用紙として活用。 ・ 各種フライヤー・パンフレット・ポスターなどを電子化で作成中。 ・ 各士業との連携で、沖縄の企業活動支援。 ・ 通訳会社との業務提携で、世界交流ネットワーク基盤の構築。 	 <p>The image shows eight SDG icons arranged in a 2x4 grid. The top row contains icons for goals 5 (Gender Equality), 6 (Clean Water and Sanitation), 7 (Affordable and Clean Energy), and 8 (Decent Work and Economic Growth). The bottom row contains icons for goals 11 (Sustainable Cities and Communities), 13 (Climate Action), 14 (Life Below Water), and 15 (Life on Land).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
57	マリンサービス むるぬーし 代表取締役 宮田仁直	<p>健全で美しい海洋環境を未来につなげ、海と海洋生物の生態系の回復のため以下の取組を実施します。</p> <p>■ノータッチマナー■ 海生生物へのノータッチマナーとして、ツアー前にすべてのお客様にご説明し、海洋生物を傷つけない海遊びの方法を知る人を世界に増やします。 ①サンゴに触れない、踏まない、立たない、蹴らない ②魚、貝に触れない</p> <p>■海に優しい日焼け止め使用の推奨■ サンゴ発火・損傷の原因となる『オキシベンゾン』と『オクチノキサート』を含まない日焼け止めの使用をすべてのお客様に推奨し、海況環境への悪影響の広がりを防止する活動を行います。</p> <p>■ビーチクリーン活動■ 月に1回、全社員で地域ビーチのゴミ拾い活動を行います。また、ツアー前にすべてのお客様にゴミによる海洋汚染状況を説明し、海・ビーチにゴミ捨てしないことと『必ずゴミを一つ拾って帰る』ことをツアー前に約束とし、『たくさんの人が海に行けば行くほど海がきれいになる』という未来につなげます。</p> <p>■使い捨てプラスチック製品の不使用■ 施設においてストロー、コップ、レジ袋などの使い捨てプラスチック製品の使用を廃止し、ツアー前にすべてのお客様へ使い捨てプラスチック製品の不使用を推奨し、海洋生物と共に生きる暮らし方を知る人を世界に増やします。</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう 4 質の高い教育をみんなに 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう 13 気候変動に具体的な対策を 8 働きがいも経済成長も</p>



おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
58	<p>丸正印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 与那覇 正明</p>	<p>持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みとして、環境に配慮した印刷の総合認定制度である「グリーンプリンティング（GP）認定」を取得。GP 認定は、主として SDGs の「目標 12：持続可能な消費と生産」に対応しており、また環境保全に関する下記の目標の実現にも寄与します。</p> <p>[目標 3：保健] VOC の発生・排出抑制 [目標 6：水・衛生] 湿し水の管理 [目標 7：エネルギー、目標 13：気候変動] 省エネ活動 [目標 11：持続可能な都市、目標 12：持続可能な消費と生産] 古紙のリサイクル、リサイクル製品の使用、デジタル化 [目標 15：陸上資源] 森林保全に配慮した資材の使用</p> <p>また、沖縄 21 世紀ビジョンの将来像との関係としては、GP 認定を活かした印刷業務に於ける環境負荷低減と温暖化対策に取り組むことで、沖縄が誇る青い海や白い砂浜、豊かな自然と多様な生物を守ることができ、沖縄 21 世紀ビジョンの「将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島」の「基本施策 1：自然環境の保全・再生・適正利用」と「基本施策 2：持続可能な循環型社会の構築」に関係される。また、今後予定している取組を推進することで「将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島」の「基本施策 10：雇用対策と多様な人材の確保」に紐づけることができる。</p> <p>丸正印刷株式会社は、沖縄県の印刷業界の環境負荷低減に向けた取り組みをリードし、社会的価値創造企業になることを目指して、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。また、お客様のよきパートナーとして、常にお客様に感謝の気持ちを持ち、印刷を核に時代に適したメディアを通じて、お客様ならびに地域社会の発展に貢献し、社員のよりよい生きがいと豊かな暮らしの実現を目指します。</p>	 <p>The image shows seven SDG icons arranged in two rows. The top row contains icons for Goal 3 (Health and Well-being), Goal 6 (Clean Water and Sanitation), Goal 7 (Affordable and Clean Energy), and Goal 11 (Sustainable Cities and Communities). The bottom row contains icons for Goal 12 (Responsible Consumption and Production), Goal 13 (Climate Action), and Goal 15 (Life on Land).</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
59	<p>有限会社三崎工業 代表取締役 知念秀明</p>	<p>経済→働きやすい職場の環境づくり、ひやみかち健康経営宣言、福寿うちな～健康宣言、がんじゅうさびら表彰(2018 グランプリ)、沖縄労働局長表彰(令和元年度) ISO 9001 認証取得</p> <p>社会→エコキャップ回収、社員の技能向上・資格取得の推進、健康経営優良法人認定企業(2020年・2019年)、就業規則の整備、防災協定、那覇市協働大使、わったーバス党员</p> <p>環境→各市町村給排水工事指定店、那覇市管工事協同組合員、CO2 排出量削減、沖縄県電気管工事協同組合員、那覇市緑化センター指定管理者、節水・節電、ISO 14001 認証取得</p> <p>沖縄県、おきなわ SDGs パートナー殿とともに最新の情報を共有したいです。また、SDGs のアイコンを活用し、弊社の取り組みと SDGs の認知度を高める情報発信をホームページにて積極的に行いたいです。 https://misakikg.jp</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
60	<p>三井住友海上火災保険株式会社 沖縄支店</p> <p>支店長 橋本 孝彦</p>	<p><当社経営計画とSDGs> 当社はMS & ADインシュアランスグループの中核企業として、グループの中期経営計画「Vision2021」の達成に向け取り組んでいます。計画の中にはCSV（社会との共通価値の創造）取組が含まれており、下記の7つの重点課題と2つの基盤の達成を目指しています。7つの重点課題は全てSDGsに関連する取組になっています。下記（）内の数字は全てSDGsのゴール、ターゲットナンバーです。 「7つの重点課題」1. 新しいリスクに対処する（9.1）、2. 事故のない快適なモビリティ社会を作る（3.6）（11.2）、3. レジリエントなまちづくりに取り組む（11.5）、4. 「元気で長生き」を支える（3.8）、5. 気候変動の緩和と適応に貢献する（13.3）、6. 自然資本持続可能性向上に取り組む（6.6）、7. 「誰一人取り残さない」を支援する（2.3） 「2つの基盤」社会の信頼に応える品質、2. 社員がいきいきと活躍できる経営基盤</p> <p><当社沖縄支店SDGs独自取組> 当社沖縄支店独自の取組として、社員一人ひとりの自発的な行動を促すために「MySDGs」取組を実践しています。一人ひとりの日常のSDGs目標をそれぞれ掲げ、オフィス内に目標を全て掲示し、小さな行動の積み重ねを日々実践しています。</p> <p><沖縄県SDGs取組への貢献> 「沖縄県21世紀ビジョン基本計画」に貢献するために下記取組を実行します。 1. 心豊かで、安心・安全に暮らせる島を目指して (1) 健康増進に関する取組（3.4）（3.d）→①健康意識の向上に役立つスマホアプリの無償提供、②「健康経営」推進の支援 (2) 子ども・若者の育成支援に関する取組（1.3）（4.3）→①里親制度の啓発活動の支援 (3) 暮らしの安全・安心に関する取組（3.6）→①交通事故防止に向けたリスクマネジメントの提供、②飲酒運転根絶に関する取組への参画 2. 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 観光振興に対する取組（12.b）→①観光客向災害時避難スマホアプリの無償提供 (2) 産業振興に関する取組（8.3）（9.1）→①起業家セミナー、経営者セミナー等の開催による経営者育成支援、②ロボット活用による業務効率化支援</p>	 


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
61	<p>三井住友ファイナンス & リース株式会社 沖縄営業所</p> <p>所 長 東 研 悟</p>	<p>当社の従来の経営理念・経営方針を再定義した「SMFL Way」における Our Vision（私たちの目指す姿）において「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げています。SDGs への取組みを通じて、未来に向けて社会の持続的な発展に貢献し、次の世代に選ばれる企業を目指しており、重点課題として、次の4つを選定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境：脱炭素・循環型社会の実現に貢献。 ●次世代：次世代につながる人・企業の発展に貢献。 ●コミュニティ：地域社会の持続的な発展に貢献。 ●働きがい：誰もがより良い未来に向けて活躍できる機会の創出。 <p>また、SDGs17 目標のうち、当社の事業領域の中で7つのゴールを選び、社会課題の解決に寄与するビジネスを推進しております。</p> <p>【県内での取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の基盤である子どもへの支援 「子どもの居場所」へ、リース満了後の PC を寄贈いたしました。 ・環境エネルギービジネス CO2 排出削減に向け、国の補助金を活用したリースを通じ、省エネ機器への入替を支援しております。 ・SDGs リース 日本総合研究所と共同で、SDGs 目標達成に貢献できる国内初（※注1）の SDGs リース「みらい2030™」の取り扱いを開始しました。SDGs 達成への新たな貢献手段を提供することで、より多くの企業による SDGs への取組みを促進しております。 <p>（※注1）年間売上高 1,000 億円以上の国内リース会社を対象に、日本総研が公開情報を調査した結果（2019 年 12 月 18 日時点）。</p> <p>『みらい2030™』（ミライニーマルサンマル）は商標登録出願中です。</p>	 <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を</p>


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
62	<p>株式会社 Life is Love</p> <p>代表取締役 比嘉 華奈江</p>	<p>●（8）働きがいも経済成長も 働き方改革のコンサルティングなどを通して、働きがいと経済成長（生産性の向上）を追求できる組織作り支援や社会づくりを目指しています。</p> <p>●（5）ジェンダー平等を実現しよう 企業向けにダイバーシティ推進研修の実施や、市町村主催の男女共同参画研修や男性の育休取得推進研修、また夫婦で参加する夫婦コミュニケーション研修などを通してジェンダー平等の推進をしています。</p> <p>●（3）すべての人に健康と福祉を 長時間労働の是正を通して、人々の健康や福祉の推進を目指しています。</p> <p>●（1）貧困をなくそう 弊社の事業全体を通して、介護と仕事の両立や、治療と仕事の両立、シングルペアレントの働き方改革など、どんな状況でも、誰もが働き続けられる社会の実現を通して、貧困をなくすことを目指しています。</p> <p>●（4）質の高い教育をみんなに 教員の働き方改革推進などを通して、教育に携わる職員や先生方が、心身ともに健康で、時間的ゆとりを持って、子供たちに質の高い教育の提供ができること、受けられることを目指しています。また弊社へのご依頼の中で、学生向けのセミナーやキャリア教育などは社会貢献活動の一貫とし、積極的に引受け、担当しています。</p> <p>●（10）人や国の不平等をなくそう 弊社の理念は2012年創業当初から、「多様性を可能性に」です。この理念実現を目指すために、これらの全ての活動を通して、最終的には、人や国の不平等をなくす、誰もが自分らしく「幸せ」を感じられる社会を目指し、活動を続けています。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
63	琉球伝統芸能デザイン研究室 山内 昌也	<p>①「4＝質の高い教育をみんなに」 「5＝ジェンダー平等を実現しよう」 琉球芸能は、琉球王国時代より「踊奉行（＝国家公務員）」により継承され、当時は全員宮廷士族の男性のみで構成されていました。廃藩置県以降は、大衆芸能として女性も含む芸能役者が増えてきました。とはいえ、<u>現在でも国立劇場おきなわ研修制度は男性のみに限られ、主要講演等もその殆どが男性により上演されます。</u>沖縄県立芸術大学が開学し、女子学生も琉球古典音楽や琉球古典舞踊等を習得しますが、卒業後の活躍の場が極端に限られています。琉球伝統芸能デザイン研究室では、<u>少人数・小空間による上質のうとういむちを行いますので、性別に関係なく、実施することが可能です。</u></p> <p>②「3＝すべての人に健康と福祉を」 「9＝産業と技術革新の基盤をつくろう」 「17＝パートナーシップで目標を達成しよう」 長寿地域『ブルーゾーン』である沖縄は、近年その形が変化しようとしています。琉球王国時代にはごく普段の日常生活にあった「食・酒・芸能」。それらは決して豪華ではなかったのかもしれませんが、凜とした上質なものであったかと思えます。それらが2019年5月に認定された『日本遺産』だと考えます。 現在、琉球伝統芸能デザイン研究室では、琉球料理『美栄』にて、琉球料理と琉球伝統芸能を楽しむ会を実施しています。<u>10名限定の限られた空間は「高貴なうとういむち」であり、これまでにないイノベーションが期待できます。</u>また、「ぬちぐすい＝命の薬」というべき、上質な食や芸術が人々に健康と福祉を提供することができます。<u>我々が設定した空間に来て頂くという演出のみではなく、福祉施設等に出向くことも可能とします。</u>様々な団体とパートナーを結ぶことで世界中から沖縄に招き、我々は「高貴なうとういむち」を提供することができます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
64	<p>一般社団法人 琉球フィルハーモニック</p> <p>代表理事 上原 正弘</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●離島・へき地の文化芸術振興 舞台公演に触れる機会の少ない離島・過疎地域などで、沖縄県と連携してプロ音楽家によるオーケストラやジャズの公演を開催し、文化的貧困を改善する取り組みを行っています。 ●バリアフリーコンサート 障害者やご家族、関係者が心ゆくまでコンサートを楽しんで頂けるための環境づくりを目指し、障害当事者や音楽、福祉など各分野の専門家が集い「ゆいまーるミュージックプロジェクト」チームを組織し取り組んでいます。 ●音楽による子どもの居場所づくり どんな家庭環境の子にも音楽をとおした多様な体験により生きる力を育むルーティン化された居場所づくりとして「ジュニアジャズオーケストラおきなわ那覇ウェスト」の活動を行っています。 ●子どもの育成&交流 学校や学年の垣根を超えた音楽を学ぶ場として「那覇ジュニアオーケストラ」の活動を行い、これまでに一流演奏家や県外のジュニアオーケストラ等と交流を行っています。 ●スクールコンサート プロの演奏家が学校などを訪れ、先生方と連携を取りながら音楽鑑賞授業として公演等を行っています。 ●音楽療法による児童デイセンター 2019年より「児童デイセンターこどもの城ミュージー（児童発達支援・放課後等デイサービス）」を開所。音楽療法を軸に、様々な関係各所と連携を取りながら、子どもたちの「育ち」を見守っています。 ●ICTを活用した様々な取り組み 離島の多い沖縄県において、ICTを活用した質の高い音楽教育を子どもたちや、学ぶ機会を求める人々に対し、効果的な学習環境などを提供できるよう取り組んでいます。（リモートレッスンなど） ●地域との連携 包摂的かつ持続可能な街づくりを促進するために、行政・地域住民・事業者等との意見交換や連携により、課題や具体的な取り組みについて共有し、共助・共創型地域づくりに参加しています。 <p style="text-align: right;">他</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
65	琉球村 代表取締役社長 上地榮一	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客への伝統・文化・芸能・文化遺産の PR ・修学旅行受け入れによる学習機会の提供 ・自社体験商品「コーラルプラン」の一部収益を恩納村ふるさとづくり応援へ寄付 	 <p>8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任つかう責任 14 海の豊かさを守ろう</p>

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
66	<p>株式会社琉薬</p> <p>代表取締役社長 稲嶺 侃</p>	<p>●県民の健康のために</p> <ul style="list-style-type: none"> - 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に積極的に参画 2016 年より、キャラバンメイト 4 名を中心に認知症サポーター養成講座の受講を推進し、認知症サポーターは約 150 名となりました。 また、沖縄県と 12 市町村と、SOS ネットワークの協定締結をしております。 100 台以上の営業車両が全島くまなく走っており、行方不明者捜索に協力できる体制が整っています。 全国的な認知症の啓発イベント『RUN 伴』には、2016 年から参加し続けています。 - 本社にて年 2 回献血を実施 - 普通救命講習の受講 - 『薬物乱用防止 ダメ。ゼッタイ。普及運動』イベントへの参加、募金活動 - AED の設置（本社、宮古営業所） <p>●働きやすい職場環境の維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「沖縄県ワークライフ・バランス企業」認証 - 沖縄労働局より「子育てサポート企業【くるみん】」として認定 - ダイバーシティの推進 <p>●地域のために未来のために</p> <ul style="list-style-type: none"> - 沖縄の豊かな自然環境を次の世代へ引き継いでいくため、その象徴とも言えるサンゴ礁の保護再生を目的とする NPO 法人への寄付を 10 年以上継続中 - 古紙、アルミ缶、その他金属を適切に分別して回収、その収益を 社会的養護等の子どもたちをサポートする NPO 法人へ定期的に寄付 - エコキャップ運動の推進 - 募金箱の設置（赤い羽根共同募金、沖縄県交通遺児育成会、難病支援の認定 NPO 法人）、災害等への寄付 - 沖縄平和賞への賛同及び募金活動 - 『こども 110 番の家』として浦添警察署より認定 - インターンシップ、職場体験学習の受け入れ - クールビズの推進 - エコドライブ講習の受講、エコカー導入 	 <p>The image shows a collection of SDG icons. The top row includes icons for Goal 3 (Health and Well-being) and Goal 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions). The middle row includes icons for Goal 3 and Goal 8 (Decent Work and Economic Growth). The bottom row includes icons for Goals 3, 4 (Quality Education), 10 (Reduced Inequalities), 11 (Sustainable Cities and Communities), 12 (Responsible Consumption and Production), 14 (Life Below Water), and Goal 16.</p>

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
67	RIN STYLE 代表 宮里 岳大	<p>健康美にこだわった空手サロン RIN STYLE は、SDGs の達成に向けた取り組みを行い、沖縄県民の健康長寿に貢献するための活動を継続していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも『健康で動けるカラダづくり』、『健康教育の充実』を図ります 運動、食事、日常生活活動のアドバイスや、ヘルスリテラシー向上のため健康教育の充実を図り、ひとりひとりが健康への意識を高め、自ら健康管理を行えるように支援します。 ・『予防のための環境づくり』に務めます 各自治体や医療・福祉サービス事業所、健康増進施設等と連携を図り、疾病や生活習慣病予防といった1次予防はもちろん、沖縄県民の健康維持・増進に向けて行動に移せるための環境づくり=『0次予防』に務めていきます。 ・『空手』を通して、健康なカラダづくりと『世界平和』に貢献します 沖縄の伝統文化である『空手』を通して、健康なカラダづくりや健全な青少年育成を支援するとともに、空手の精神も伝えることで世界平和へ貢献します。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
68	ワールド・リンク株式会社 代表取締役 大山尊司	<p>炭酸カルシウムと生分解性樹脂を配合した廉価で環境にやさしいリサイクル可能な、環境プラスチック開発を行っております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、安全・安心「高純度炭酸カルシウム」の有効利用による環境負荷低減製品製造と普及活動を推進 2、汎用プラスチック代替新素材活用で「環境負荷低減地域づくり」地域モデル化の推進 <p>環境配慮への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な生産・消費形態をリサイクルループにより確保する。 ・製品ライフサイクルを通じて人の健康や環境への悪影響を最小化するため、廃棄物放出を大幅削減する。 ・海ゴミ削減・防止による海の資源を守る。 <p>地域社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で脱・減汎用プラスチック環境モデルを確立し、国内外に広く発信・普及を行う。 ・地域事業者と連携し簡易食器等やアメニティー・土木資材で環境にやさしいプラスチックへ代替を進める。 	